

# 松戸市立博物館年報

第28号 — 令和2年度 (2020)



松戸市立博物館  
MATSUDO MUSEUM

## はじめに

昨年度は、世界中が新型コロナウイルス感染症の拡大に悩まされました。わが国でも、オリンピック・パラリンピックの1年延期をはじめとして、様々なイベントが中止や延期に追い込まれました。また、あちこちの博物館や美術館でも、休館や、展覧会の中止または延期を余儀なくされました。

当館でも臨時休館に伴って、春の館蔵資料展「郷土玩具 人と動物のかたち」は会期を大幅に縮小したものの、その後の展覧会は、対策を施した上で予定通り開催できたことは幸いでした。しかし、多くの講演、講座、展示解説会、体験教室などが中止となってしまったことは残念でした。

また、「博物館アワード」ですが、関係者の熱意とご協力もあって無事開催できたことは、生徒さんたちにとっても喜ばしいことだったと思います。なお、当館が新型コロナウイルスにどのように対応したか、その記録をまとめておきました。将来、同じような事態が起こった時の貴重な体験資料として、参考になるものと思います。

博物館友の会も思うような活動ができず、悔しい思いをした1年だったと思います。新型コロナウイルスの影響はこれからも続くでしょうが、職員一同、友の会と力を合わせてよりよい博物館をめざして頑張る所存ですので、市民の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年9月30日

松戸市立博物館館長

# 松戸市立博物館年報 第28号

I	沿革	3
II	施設の概要	5
III	事業の概要	6
1	常設展示	
	(1) 総合展示	
	(2) 主題展示	
	(3) 野外展示	
	(4) 映像展示	
2	資料・企画展示	9
	(1) 館蔵資料展「郷土玩具 人と動物のかたち」	
	(2) 美術展「松戸のたからもの 松戸市の美術品コレクション」	
	(3) 企画展「松戸と徳川将軍の御鹿狩」	
	(4) 学習資料展「松戸探検 90年前からのくらしのうつりかわり」	
3	学習支援	31
	(1) 講演会	
	(2) 講座	
	(3) 体験学習	
	(4) ミュージアムシアター・プレイルーム	
	(5) 館内公開	
	(6) ガイドツアー（常設展示解説）	
	(7) 情報提供	
4	連携事業	40
	(1) 博学連携プログラム	
	①受入	
	②派遣	
	③事業	
	(2) その他	
5	調査・研究	44
	(1) 松戸市古文書調査（委託）	
	(2) 研究員の活動	
	(3) 学芸員の活動	
6	資料の収集と利用	47
	(1) 資料の収集	
	(2) 博物館資料の貸出	
	(3) 博物館資料の特別利用	
	(4) 資料の燻蒸等	
7	令和2年度 資料展・企画展アンケート結果	51
	(1) 館蔵資料展「郷土玩具 人と動物のかたち」	
	(2) 企画展「松戸と徳川将軍の御鹿狩」	
	(3) 学習資料展「松戸探検 90年前からのくらしのうつりかわり」	
8	新型コロナウイルスへの対応	54
IV	組織と運営	57
1	組織	
2	歳出予算	
3	事務事業	
4	各種委員会等	
5	博物館利用者数の統計	
6	来訪者	
V	条例・規則	62
	職員名簿	

# I 沿革

年月	事項
昭和 39 年 12 月	松戸市公民館に郷土資料室設置 (50㎡)
昭和 46 年 4 月	(勸)松戸市開発協会内に移転、松戸市郷土資料館となる。(227. 47㎡)
昭和 49 年 11 月	松戸市文化ホール内に移転、郷土資料コーナーとなる。(330㎡)
昭和 56 年 3 月	松戸市文化ホールが博物館相当施設となる。
5 月	松戸市美術館 (郷土資料館及び古文書館を含む) 構想調査会条例制定 松戸市美術館構想調査会発足 [委員 7 名]
昭和 58 年 8 月	松戸市美術館構想調査会、松戸市美術館 (郷土資料館及び古文書館を含む) 構想について答申 (18 回開催)
昭和 59 年 4 月	社会教育部内に美術館準備室設置
6 月	松戸市美術館 (郷土資料館及び古文書館を含む) 建設調査会発足 [委員 10 名]
11 月	松戸市美術館建設調査会、美術館について答申
昭和 60 年 3 月	松戸市美術館建設調査会、郷土資料館・古文書館について答申 (7 回開催)
昭和 63 年 9 月	市議会に文化施設建設対策特別委員会設置 [委員 15 名]
10 月	第 4 次総合 5 ヶ年計画で郷土博物館 (仮称) 建設決定 美術館準備室に博物館担当学芸員を配属
11 月	松戸市立郷土博物館展示検討委員会発足 [委員 10 名]
12 月	建設用地を総合公園「21 世紀の森と広場」内と決定 松戸市立郷土博物館設立懇談会発足 [委員 8 名]
平成 元年 3 月	文化施設建設対策特別委員会において建築設計事務所選定方式をプロポーザル方式と決定 松戸市立郷土博物館設立懇談会において展示の基本構想を決定
4 月	文化施設建設対策特別委員会において展示設計業者選定方式を特命方式と決定
8 月	総合公園「21 世紀の森と広場」内に建設位置決定
11 月	松戸市立郷土博物館建築設計事務所選定委員会発足 [委員 8 名] 展示基本設計を(株)乃村工藝社に委託
12 月	建築設計事務所を(株)佐藤総合計画に決定
平成 2 年 2 月	建築基本設計を(株)佐藤総合計画に委託
3 月	建築実施設計を(株)佐藤総合計画に委託
6 月	展示実施設計を(株)乃村工藝社に委託
9 月	博物館本体工事を大成・海老澤共同企業体と契約 博物館新築工事着手
平成 3 年 9 月	展示工事及び展示物製作を(株)乃村工藝社に委託、工事・製作着手
平成 4 年 1 月	外構工事着手
3 月	植栽工事着手
4 月	美術館準備室から分かれ、博物館開設室設置
6 月	建築工事、外構工事竣工
7 月	野外展示工事着手、植栽工事竣工
9 月	松戸市立博物館条例制定 (館名「松戸市立博物館」に決定)
12 月	野外展示工事竣工
平成 5 年 1 月	展示工事竣工
3 月	松戸市立博物館管理運営規則制定
4 月	<b>松戸市立博物館開館 (29 日)</b> 初代岩崎卓也館長就任 開館記念展 (期間：4 月 29 日から 6 月 13 日まで)「松戸写真館—カメラがとらえた松戸の人々」を開催
10 月	松戸市立博物館協議会発足 [委員 10 名]

年月	事項
平成 6 年 4 月 6 月	機構改革にともない市立図書館より市史編さん係を移管 館蔵「幸田貝塚出土品」266 点 国重要文化財指定 (28 日付)
平成 7 年 6 月	博物館登録 千葉県教育委員会 平成 7 年 6 月 9 日 登録番号第 30 号 博物館資料数 4,385 点 歴史資料 1,686 点 考古資料 2,650 点 民俗資料 49 点
平成 8 年 10 月	博物館等資料選定評価委員会発足 [委員 5 名]
平成 9 年 3 月	博物館開館 5 周年記念特別展示 (期間: 3 月 20 日から 5 月 11 日まで) 「シルクロードとガンダーラ」展を開催
平成 10 年 4 月	博物館事業として「自然史」を加える。(松戸市立博物館条例改正) 機構改革にともない市史編さん係を廃し庶務係に吸収する。
平成 13 年 10 月	観覧料に「共通観覧料」を設ける。(松戸市立博物館条例改正)
平成 14 年 6 月	松戸市立博物館友の会発足 (16 日)
平成 15 年 10 月	松戸市制施行 60 周年記念・松戸市立博物館開館 10 周年記念特別展示 (期間: 10 月 11 日から 11 月 30 日まで)「川の道 江戸川」展を開催
平成 20 年 3 月 4 月 10 月	初代岩崎卓也館長退任 2 代関根孝夫館長就任 組織改革により、係制を廃止 ハイビジョンシアターをミュージアムシアターに改称 松戸市立博物館開館 15 周年記念特別展示 (期間: 10 月 11 日から 12 月 7 日まで) 「縄文時代の東・西」展を開催
平成 21 年 5 月	市史編さん委員会に、原始・古代及び中世各部会を設置し、松戸市史上巻改訂事業に本格的に着手
平成 23 年 3 月 4 月	東日本大震災発生 (11 日) 観覧料「中学生以下は無料」となる。(松戸市立博物館条例改正)
平成 24 年 3 月 4 月	2 代関根孝夫館長退任 3 代望月幹夫館長就任
平成 25 年 10 月	松戸市制施行 70 周年記念・松戸市立博物館開館 20 周年記念特別展示 (期間: 10 月 5 日から 11 月 24 日まで)「松戸の発掘 60 年史ー市内の遺跡を再検討ー」展を開催
平成 26 年 12 月	「松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱」を条例化し、「松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例」を制定 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
平成 27 年 2 月	『松戸市史 上巻 (改訂版) 原始・古代・中世』を刊行
平成 30 年 4 月	松戸市立博物館管理運営規則第 5 条の観覧料の免除等の (1)「大学生及び大学生以下の者を引率する者」を追加、(3)「身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者」の市内要件を撤廃
平成 30 年 9 月	松戸市制施行 75 周年記念・松戸市立博物館開館 25 周年記念特別展示 (期間: 9 月 22 日から 11 月 25 日まで)「ガンダーラー仏教文化の姿と形ー」展を開催
平成 31 年 3 月	松戸市制施行 75 周年・松戸市立博物館開館 25 周年企画展示 (期間: 3 月 9 日から 3 月 24 日まで)「日本の太鼓・世界の太鼓」展を開催。21 世紀の森と広場に所在する 21 世紀の森と広場公園管理事務所、森のホール 21、および当館による初の連携企画
令和元年 10 月	消費税率引き上げに伴う観覧料改定
令和 2 年 3 月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の展示を休止 (3 月 3 日～ 31 日)
令和 2 年 4 月	新型コロナウイルス感染症の拡大で、緊急事態宣言が千葉県を含む 1 都 1 府 5 県に出される (4 月 7 日～ 5 月 25 日)。これに伴い 4 月 8 日～ 5 月 31 日の間、臨時休館となる。

# II 施設の概要

## 建築の概要

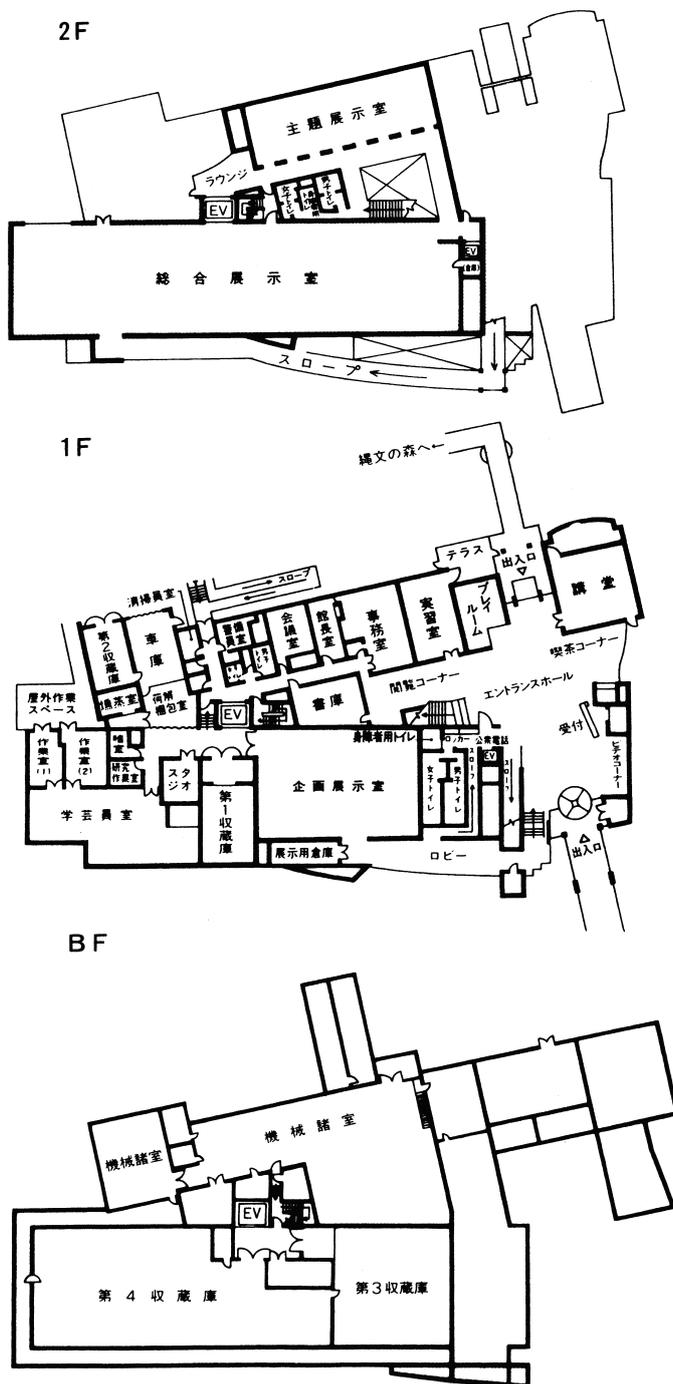
- 1) 敷地面積 7,795.81㎡      2) 建築面積 2,709.92㎡  
 3) 延床面積 5,446.73㎡    1階 2,515.17㎡ / 2階 1,542.92㎡ / 地下1階 1,388.64㎡  
 4) 階数 地下1階・地上2階    5) 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 (展示室 PRC 梁構造)  
 6) 高さ 14.4 m

注) 博物館周辺環境との調和をはかるため高さを15 m以内に、また地下水などの水脈保全のため地下部分についても10 m以内に制限して建設を行った。

### 【各室の面積】

区分	室名	室数	階層	面積(㎡)
展示部門	総合展示室	1	2	873.40
	主題展示室	1	2	215.09
	企画展示室	1	1	318.85
	展示用倉庫	1	1	33.12
	小計			1,440.46
収蔵・保存部門	第1収蔵庫	1	1	102.67
	第2収蔵庫	1	1	46.20
	第3収蔵庫	1	B1	231.38
	第4収蔵庫	1	B1	472.41
	車庫・荷解梱包室	1	1	109.54
	作業室(1)	1	1	33.71
	作業室(2)	1	1	42.98
	燻蒸室	1	1	31.32
	小計			1,070.21
教育普及部門	講堂	1	1	124.88
	実習室	1	1	70.97
	プレイルーム	1	1	51.60
	閲覧コーナー	—	1	78.80
	ビデオコーナー	—	1	45.66
	小計			371.91
調査研究部門	書庫	1	1	50.19
	学芸員室	1	1	193.49
	スタジオ・暗室	1	1	40.30
	研究作業室	1	1	16.99
	小計			300.97
管理部門	館長室	1	1	33.03
	事務室	1	1	83.98
	会議室	1	1	38.27
	警備員室	1	1	25.03
	清掃室	1	1	10.67
	機械諸室	—	B1	575.49
	管理共有部分	—	1	424.54
	小計			1,191.01
サービス部門	エントランスホール	—	1	333.12
	喫茶コーナー	—	1	56.29
	ロビー	—	1	106.32
	スロープ	—	—	196.91
	共有部分	—	—	379.53
	小計			1,072.17
合計			5,446.73	

### 【各階の平面図】



---

# III 事業の概要

---

## 1 常設展示

### (1) 総合展示

#### ゾーン1 人類の登場

##### ■ 松戸のあけぼの

旧石器時代の展示空間は常設展示室の入り口部分、展示全体の導入部であるので、短時間で旧石器時代に関心を抱いてもらえるように、見てわかる展示を心がけた。特に実資料（石器）の展示については、単に「石」の羅列にならないように、3つの展示スペース相互に関連をもたせた。

#### ゾーン2 狩りと採集のムラ

##### ■ 縄文人の暮らし

近年の相次ぐ発掘調査の成果は、これまでの縄文時代の生活に対する私達のイメージを一変させている。ここでは、遺跡から出土する動物・植物遺存体を手がかりにして、ムラの外での生業活動の復元を行い、貝の花貝塚の復元模型を中心にムラの中での日常生活の復元を行っている。

##### ■ ムラのうつりかわり

縄文時代は安定した食糧供給に支えられて、人々は定住を始め、やがてムラを営むようになった。この縄文時代草創期から晩期にいたるムラの盛衰と生活基盤の変化を、幸田貝塚・子と清水貝塚・貝の花貝塚など、市内の遺跡の出土資料等を使用して、明らかにしようと試みている。

##### ■ 人々の交流

縄文時代の人々は、近隣だけでなく、遠く離れた地域の人々とも交流していたことが、遺跡から出土する土器・石器などによってわかる。ここでは、松戸市内から出土した石器石材の産地推定を通して、松戸を中心とした縄文時代の人々の交流圏や、石材の入手経路について、展示を行っている。

#### ゾーン3 稲作社会の誕生

##### ■ 米作りの暮らし

弥生時代になって中国大陸や朝鮮半島から多くの人々が日本に到来し、様々な新しい技術をもたらした。とりわけ、古墳時代の変化を松戸市域の出土資料を用いて展示している。

##### ■ 古墳の出現

前方後円墳という共通の形の墓が全国で築かれた古墳時代における松戸市域の特質を、河原塚古墳群や栗山古墳群などの出土遺物を用いて展示を行っている。

#### ゾーン4 下総国のはじまり

##### ■ 古代の松戸

古代の松戸周辺は下総国西端の葛飾郡に含まれていた。下総国の国府は市川市国府台周辺にあったと考えられており、この時期の松戸市域は政治的求心力のある国府の近郊地域として位置づけられる。

#### ゾーン5 武士と民衆

##### ■ 千葉氏と高城氏

武士が政権の座に就いた中世、鎌倉時代の松戸市域では千葉氏の一族が登場する。本拠とした風早郷を名乗った風早氏である。室町から戦国時代にかけては高城氏が勢力を伸ばした。戦国後期に大谷口小金城を本拠とした高城氏は、東葛飾地域最大の領主となった。高城氏は戦国大名間の争いの渦中で、次第に後北条氏の支配に属するようになり、やがて豊臣秀吉の天下統一により滅亡を余儀なくされた。関連する文書資料お

よび小金城出土資料などから同氏の当該期における位置づけを解説している。

#### ■ 中世人の生と死

中世の人々は現世のみならず来世での幸福を強く願った。市内に残存する資料からその具体的な信仰を探った。板碑は供養碑としてとくに関東地方で流行した。市内の武蔵型板碑の出土地を見ると、多くは小さな谷が入り組んだ台地の縁辺部であるところから、中世人の生活空間が推量される。また関東中世史の研究に欠かせない「本土寺過去帳」所載の地名と一致する場合も多い。過去帳はその存在自体が人々の往生願望の現れであるが、ほかにも合戦記事、多くの職人の名などが見える。展示においてはその豊富な内容の一端を解説している。

### ゾーン6 町場と村

#### ■ 近世の村

近世社会に入ったころの松戸市域はほとんどが農村で、幕末でも松戸宿・小金宿を除き53の村（新田村を含む）に分かれていた。近世の領主は、村を行政単位として年貢などを徴収したり、宗門改めや五人組制度等によって農民を支配し、村では名主・組頭などの村役人を代表者として生産・生活を営んでいた。一方、当時の農村生活の楽しみには、庚申講などでの共同飲食や、お伊勢参りなど寺社参詣の旅があった。

#### ■ 宿場と河岸

松戸市域には水戸道沿い松戸宿と小金宿の2つの宿場町があった。幕府の交通政策によって公的に設定された宿は、単なる交通の拠点としてでなく、周辺の流通・経済の中心地として発展した。特に江戸川岸に河岸場が発達した松戸宿は、陸上交通だけでなく、江戸川と利根川の河川交通・流通の中継基地という性格が加わり、また江戸川の対岸金町に幕府が関所を設けたので旅籠も多く、下総北西部の重要な町場に発展した。

#### ■ 小金牧と御鹿狩

下総台地には古代から馬の牧場が設置され放牧が行われていた。江戸幕府はこの台地に直轄の牧場、小金牧・佐倉牧を開設するが、大半が小金牧に含まれた市域は、牧を管理する野馬奉行役宅や金ヶ作役所が設けられ、牧支配の中核地だった。また、徳川将軍家は「御鹿狩」と呼ばれた大規模な狩りを小金原で計4回行ったが、その舞台は現在の松飛台周辺だった。この狩りには、小金原の地元はもちろん武蔵・上総など4か国から農民が勢子として動員されたが、めったにない娯楽的要素もあった。

### ゾーン7 都市へのあゆみ

#### ■ 松戸 1868～1960

近代を迎えた松戸は葛飾県、印旛県をへて千葉県に編入される。郡役所、郵便局、警察、裁判所が置かれ、東葛飾郡の行政の中心となった。19世紀末から20世紀初頭にかけては常磐線、流鉄、東武野田線（いずれも現在の名称）が市内を通過し、交通網の整備がすすむ。やがて戦争の時代にいたると多くの市民が戦場へ駆り出され、あるいは銃後の生活を強いられた。戦後の松戸は常盤平団地に象徴されるように、首都圏の住宅供給地として、大きくその景観、産業構造を変貌させている。このような近現代での松戸の変化を絵年表を中心に、市域の変遷図、土地利用変遷図などの資料を用い、日本史全体の流れを考慮しつつ解説している。

#### ■ 下谷・谷津・台

松戸市が現在のような姿になったのは、昭和30年～40年代の高度経済成長期に大規模な宅地開発や工業団地の造成が行われたことが大きい。この時期には人口の社会増が大きく、市民の生活も全体的な景観も大きく変貌した。ここでは、下谷・谷津・台というフォークタムから、市域を江戸川低地（下谷）、下総台地の開析谷周辺（谷津）、下総台地の平坦面（台）の3種類に分け、大きな変貌を遂げる直前の昭和30年代前半の景観模型をもとに、地形、水利、生産形態、住まい方などを例にとって先人の人々の生活の場がどのようなものであったのかを対比的に説明している。

#### ■ 常盤平団地の誕生

松戸市は昭和30年代の半ばから、その大半を占めていた近郊農村から首都圏の住宅都市へと急激にその姿を変貌させていくが、その先駆けとなったのが常盤平団地であった。この団地の住民の大半が首都圏の企

業に勤めるサラリーマンの家庭で、住宅都市を目指していた松戸市の新しい市民像を代表していた。この展示では、あるサラリーマン家庭の昭和 37 年の暮らしが当時の生活財によって原寸大の 2DK のなかに復元されている。

## (2) 主題展示

### 主題 1 考古学と科学の眼

総合展示室で復元されている 4000 年前の縄文時代に存在した森はどのようにして復元されたのか、また、縄文時代の海岸線をどのようにして知ることが出来たのか。あるいは、文字などのなかった遙か昔の年代がなぜ分かるのか、といった主に自然科学的な手法を用いた歴史の復元方法を紹介している。

### 主題 2 虚無僧寺一月寺

江戸時代の小金宿には、青梅鈴法寺とともに普化宗総本山だった一月寺があり、全国に知られていた。中国唐代の普化禅師を宗祖とする禅宗の一派だった普化宗と、その僧侶である虚無僧が、近世前期に成立して近世中期に最盛期を迎えたこと、また、映像によって虚無僧の姿や生活の歴史や、江戸時代虚無僧に独占された尺八の歴史・音楽などを紹介している。

### 主題 3 二十世紀梨の誕生

果物のナシの代表品種「二十世紀梨」は、現在鳥取県での栽培が有名であるが、実は明治時代に現在の松戸市内で松戸覚之助少年に偶然発見され、次第に全国で栽培されたのであった。そのため、現在市内に「二十世紀が丘」の地名が残るが、この展示室では発見者松戸覚之助のことや、発見以前（江戸時代）から盛んであった下総東葛地域のナシ栽培の歴史、また映像により現在の市内梨園での二十世紀梨の開花から収穫までの栽培の様子を紹介している。

### 主題 4 三匹獅子舞

松戸市内の 3 地区で演じられている獅子舞は、ひと組の踊り手が 3 人からなる「三匹獅子舞」と呼ばれるものである。シシ（獅子）が登場する芸能は日本国内ではなじみ深いものであるが、一口にシシといっても、頭の形・演じ方ともにさまざまな違いがあることは意外に知られていない。ここでは山路興造氏の所説をもとに、三匹獅子舞の特徴、一人立ちの獅子舞と二人立ちの獅子舞の差異、絵画史料にみる一人立ちの獅子舞と風流踊といった観点から、三匹獅子舞の系譜と地域的広がりを映像を用いて解説している。

## (3) 野外展示

### 竪穴住居復元

博物館北側の台地に、市内の遺跡から発掘された住居跡の資料に基づいて、縄文時代中期の竪穴住居 3 棟を原寸復元した。常時、竪穴住居 1 棟を開放し、住居内を自由に見学できるようになっている。

## (4) 映像展示

### ビデオコーナー

#### ■ ビデオ映像

松戸市内に関わりのある映像ソフト 7 作品を製作して公開している。

- ①大地に埋もれた歴史
- ②町並み今昔物語
- ③富士講
- ④万作を語る
- ⑤三匹獅子舞～和名ヶ谷～
- ⑥三匹獅子舞～上本郷～
- ⑦三匹獅子舞～大橋～

## 2 資料・企画展示

### (1) 館蔵資料展「郷土玩具 人と動物のかたち」

#### ◆展示意図

平成11年に寄贈された郷土玩具の個人コレクションから「人と動物のかたち」をテーマに絞り、郷土玩具のもつ創造性や多様性を発見して楽しむ機会を提供した。

- ◆主催 松戸市立博物館（企画担当 山田尚彦〈当館学芸員〉）
- ◆後援 千葉テレビ放送株式会社、（公財）松戸市文化振興財団、（一社）松戸市観光協会
- ◆協力 新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社
- ◆会期 令和2年6月2日（火）～6月21日（日）（開催日数18日間）  
※当初は令和2年4月25日（土）～6月14日（日）  
[44日間]を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う閉館期間が生じたため、会期を変更して実施した。

◆会場 松戸市立博物館 企画展示室

◆観覧者数 692人

◆観覧料 無料

- ◆印刷物 ①ポスター B2判 300枚
- ②ちらし A4判 10,000枚
- ③展示資料リスト 300部（館内で印刷、以下同）
- ④こどもワークシート 300部
- ⑤ペーパークラフト

「郷土玩具ずぼんぼ（とら・しし）をつくってあそぼう」

（2種各300部、「おうちミュージアム」第5弾としてPDFファイルを博物館サイトに掲載）

- ⑥ワークシート「図形パズルをつくってあそぼう」

（300部、「おうちミュージアム」第6弾としてPDFファイルを博物館サイトに掲載）

- ⑦ワークシート「郷土玩具を干支の順にならべてみよう」

（印刷せず、「おうちミュージアム」第7弾としてPDFファイルを博物館サイトに掲載）



※このポスターデザインは、パイインターナショナル（編）2020『図形で魅せる広告レイアウトデザイン』パイインターナショナル発行p.101に集録された。

#### ◆展示資料

No.	資料番号	グループ	名称	製作地都道府県
1	1657		黄鮒	栃木県
2	2281		ずぼんぼ（獅子）	東京都
3	2282		ずぼんぼ（虎）	東京都
4	1136	天神人形	仙台張子（牛乗り天神）	宮城県
5	1133	〃	会津張子（会津天神）	福島県
6	1134	〃	三春張子（天神）	福島県
7	1142	〃	三春張子（天神）	福島県
8	1143	〃	三春張子（天神）	福島県
9	1135	〃	船渡張子（天神）	埼玉県
10	1139	〃	春日部張子（牛乗り天神）	埼玉県
11	1138	〃	出雲張子（牛乗天神）	島根県
12	52	〃	中山土人形（天神）	秋田県
13	99	〃	中山土人形（天神）	秋田県
14	33	〃	酒田土人形・鶴渡川原人形（天神）	山形県
15	81	〃	酒田土人形・鶴渡川原人形（天神）	山形県

No.	資料番号	グループ	名称	製作地都道府県
16	4	天神人形	相良人形 (堂内天神)	山形県
17	15	〃	相良人形 (天神)	山形県
18	381	〃	相良人形 (天神)	山形県
19	25	〃	芝原人形 (天神)	千葉県
20	47	〃	下川原焼 (天神)	青森県
21	72	〃	下川原焼 (天神)	青森県
22	17	〃	堤人形 (天神)	宮城県
23	37	〃	堤人形 (天神)	宮城県
24	24	〃	中湯川土人形 (天神)	福島県
25	34	〃	中湯川土人形 (天神)	福島県
26	35	〃	中湯川土人形 (天神)	福島県
27	36	〃	中湯川土人形 (天神)	福島県
28	57	〃	花巻土人形 (天神)	岩手県
29	14	〃	八橋土人形 (天神)	秋田県
30	83	〃	八橋土人形 (牛乗り天神)	秋田県
31	13	〃	八幡人形 (天神)	新潟県
32	74	〃	附馬牛天神 (牛乗り天神)	岩手県
33	76	〃	附馬牛天神 (牛乗り天神)	岩手県
34	84	〃	附馬牛天神 (牛乗り天神)	岩手県
35	26	〃	西瓜天神	神奈川県
36	27	〃	西瓜天神	神奈川県
37	45	〃	犬山土人形 (天神)	愛知県
38	88	〃	鴨田土人形 (牛乗り天神)	愛知県
39	1490	〃	串天神	静岡県
40	6	〃	佐野土人形 (天神)	栃木県
41	70	〃	下総人形 (天神)	千葉県
42	1137	〃	志太天神	静岡県
43	51	〃	坊の谷土人形 (天神)	静岡県
44	5	〃	高山土人形 (牛乗り天神)	岐阜県
45	20	〃	富山土人形 (天神)	富山県
46	16	〃	豊橋土人形 (赤天神)	愛知県
47	86	〃	中野土人形 (天神)	長野県
48	53	〃	名古屋土人形 (堂内天神)	愛知県
49	63	〃	名古屋土人形 (天神)	愛知県
50	73	〃	名古屋土人形 (天神)	愛知県
51	29	〃	水原の山口人形 (天神)	新潟県
52	48	〃	水原の山口人形 (天神)	新潟県
53	379	〃	堂内天神	鳥取県
54	8	〃	出雲土人形 (牛乗り天神)	島根県
55	44	〃	出雲土人形 (五色天神)	島根県
56	54	〃	出雲土人形 (五色天神)	島根県
57	55	〃	出雲土人形 (五色天神)	島根県
58	59	〃	出雲土人形 (五色天神)	島根県
59	60	〃	出雲土人形 (五色天神)	島根県
60	61	〃	出雲土人形 (五色天神)	島根県
61	62	〃	出雲土人形 (五色天神)	島根県
62	1	〃	小幡人形 (天神)	滋賀県
63	32	〃	小幡人形 (天神)	滋賀県
64	87	〃	小幡人形 (天神)	滋賀県
65	30	〃	葛畑土人形 (天神)	兵庫県
66	49	〃	倉吉人形 (天神)	鳥取県
67	3	〃	御坊人形 (天神)	和歌山県
68	21	〃	長浜土人形 (天神)	島根県
69	22	〃	長浜土人形 (天神)	島根県
70	23	〃	長浜土人形 (天神)	島根県
71	38	〃	長浜土人形 (天神)	島根県
72	39	〃	長浜土人形 (天神)	島根県
73	93	〃	長浜土人形 (天神)	島根県
74	46	〃	伏見人形 (天神)	京都府
75	85	〃	久米の泥天神	岡山県
76	79	〃	古博多人形 (天神)	福岡県
77	80	〃	古博多人形 (天神)	福岡県
78	92	〃	佐土原人形 (天神)	宮崎県

No.	資料番号	グループ	名称	製作地都道府県
79	56	天神人形	赤兵子天神（人形）	大分県
80	378	”	帖佐人形（天神）	鹿児島県
81	380	”	帖佐人形（天神）	鹿児島県
82	11	”	津屋崎人形（天神）	福岡県
83	391	”	津屋崎人形（天神）	福岡県
84	10	”	津山土人形（牛乗り天神）	岡山県
85	50	”	津山土人形（津山泥天神・津山練り天神）	岡山県
86	64	”	津山土人形（ほこら天神）	岡山県
87	82	”	津山土人形（津山泥天神・津山練り天神）	岡山県
88	2	”	のごみ人形（天神）	佐賀県
89	90	”	野田天神	愛媛県
90	94	”	三次土人形（天神）	広島県
91	95	”	三次土人形（天神）	広島県
92	96	”	三次土人形（天神）	広島県
93	97	”	三次土人形（天神）	広島県
94	98	”	三次土人形（松負い天神）	広島県
95	714	”	天神土鈴	広島県
96	638	さまぎまな人のかたち	会津張子（起姫）	福島県
97	1810	”	会津張子（起姫・夫婦）	福島県
98	1115	”	宇土張子	熊本県
99	1107	”	沖縄張子・風俗人形（ウッチリクブサー）	沖縄県
100	1122	”	沖縄張子・風俗人形（モーヤーブトウキ）	沖縄県
101	1117	”	倉敷張子（素隠居人形）	岡山県
102	654	”	御坊人形（夫婦だるま）	和歌山県
103	1116	”	仙台張子（夫婦福助）	宮城県
104	1126	”	浜松張子（鳥神楽）	静岡県
105	1093	”	肥後張子（力士）	熊本県
106	1100	”	姫路張子（獅子舞）	兵庫県
107	1086	”	奉公（ホーコ）さん	香川県
108	1087	”	奉公（ホーコ）さん	香川県
109	1089	”	奉公（ホーコ）さん	香川県
110	647	”	三河郷土玩具・おころりん	愛知県
111	1088	”	三春張子（踊る女）	福島県
112	1105	”	三春張子（獅子舞）	福島県
113	1120	”	猩々（疱瘡神）	滋賀県
114	1124	”	坊ちゃん列車	愛媛県
115	1108	”	坊さんかんざし	高知県
116	401	”	中野土人形（立ヶ花人形）	長野県
117	403	”	中野土人形（踊り子）	長野県
118	353	”	下川原焼（福助）	青森県
119	354	”	下川原焼	青森県
120	373	”	下川原焼（三味線）	青森県
121	358	”	酒田土人形・鶴渡川原人形（太鼓打）	山形県
122	298	”	相良人形（子抱き）	山形県
123	322	”	相良人形（前帯女郎）	山形県
124	362	”	佐渡土人形（笛吹）	新潟県
125	329	”	芝原人形（子守り）	千葉県
126	346	”	下総人形（ひねり内儀）	千葉県
127	292	”	堤人形（谷風）	宮城県
128	301	”	堤人形（獅子舞）	宮城県
129	725	”	堤人形（芥子）	宮城県
130	1966	”	堤人形（伊達政宗）	宮城県
131	296	”	中野土人形（鯛ひき）	長野県
132	365	”	中野土人形（ひょうたんかつぎ童子）	長野県
133	383	”	中野土人形（立ヶ花人形・曾我五郎）	長野県
134	384	”	中野土人形（立ヶ花人形・弁慶）	長野県
135	392	”	中野土人形（立ヶ花人形・舞鶴）	長野県
136	314	”	中山土人形（竿燈人形・人形）	秋田県
137	351	”	花巻土人形（牛乗り童子）	岩手県
138	357	”	八橋土人形（えずめっこ）	秋田県
139	310	”	水原の山口人形（さる廻し）	新潟県
140	334	”	水原の山口人形（馬乗鎮台）	新潟県
141	317	”	二人獅子舞	山形県

No.	資料番号	グループ	名称	製作地都道府県
142	347	さまざまな人のかたち	万祝泥人形	千葉県
143	359	〃	万祝泥人形	千葉県
144	335	〃	おみゆきさん(人形)	山梨県
145	319	〃	赤坂人形(頭巾を被る女)	福岡県
146	370	〃	出雲今市土人形(子連れ夕涼み)	島根県
147	331	〃	尾崎人形(立娘)	佐賀県
148	396	〃	起(富田)の土人形	愛知県
149	312	〃	小幡人形(大神楽)	滋賀県
150	325	〃	備中神楽人形(松尾明神)	岡山県
151	326	〃	備中神楽人形(室尾明神)	岡山県
152	343	〃	備中神楽人形(大国主命)	岡山県
153	390	〃	市原人形(石童丸)	岐阜県
154	320	〃	住吉人形(種貸さん)	大阪府
155	289	〃	豊橋土人形(竹島の弁財天)	愛知県
156	313	〃	のごみ人形(浮立面人形)	佐賀県
157	371	〃	のごみ人形(菩薩人形)	佐賀県
158	315	〃	大和出雲人形(左前人形)	奈良県
159	389	〃	大和出雲人形(犬乗りこども)	奈良県
160	715	〃	南蛮鈴	大分県
161	716	〃	南蛮鈴	大分県
162	719	〃	南蛮鈴(待)	大分県
163	722	〃	春日巫子土鈴	奈良県
164	712	〃	姫土鈴	広島県
165	318	〃	運動人形	香川県
166	349	〃	馬乗童子	福岡県
167	287	〃	高山土人形(鯛乗りえびす)	岐阜県
168	1106	〃	高松張子(鯛乗りえびす)	香川県
169	1053	〃	鴻巣の赤物(鯛乗金太郎)	埼玉県
170	1125	〃	鴻巣の赤物(熊金)	埼玉県
171	280	〃	気比神宮の桃太郎(本体)	福井県
172	278	〃	犬山土人形(桃太郎)	愛知県
173	282	〃	大和出雲人形(熊乗り金太郎)(本体)	奈良県
174	283	〃	天草土人形(山姥と金時)	熊本県
175	281	〃	日出人形(鯉金)	大分県
176	291	〃	古賀人形(阿蘭陀さん)	長崎県
177	295	〃	古賀人形(阿茶さん)	長崎県
178	330	〃	古賀人形	長崎県
179	375	〃	堺の土人形(南蛮人形・黒帽子)	大阪府
180	294	〃	佐土原人形(饅頭食い・羊羹食い)	宮崎県
181	333	〃	佐土原人形(太鼓持)	宮崎県
182	393	〃	津屋崎人形(かぶと人形)	福岡県
183	385	〃	弓野人形(力士)	佐賀県
184	386	〃	弓野人形(花魁)	佐賀県
185	382	〃	帖佐人形(三番叟)	鹿児島県
186	388	〃	乙川の土人形(犬乗り童児)	愛知県
187	428	〃	南蛮人形	長崎県
188	1376	〃	堤人形(子)	宮城県
189	1946	〃	堤人形(子)	宮城県
190	226	十二支ほかの動物たち	小幡人形(小槌乗り鼠)	滋賀県
191	1035	〃	福鼠	島根県
192	2297	〃	倉敷張子(十二支・子)	岡山県
193	858	〃	常石張子(ねずみ)	広島県
194	819	〃	のごみ人形(十二支土鈴)	佐賀県
195	1893	〃	薩摩首人形(米倉ねずみ)	鹿児島県
196	560	〃	金ベコ	岩手県
197	582	〃	仙台張子(俵牛)	宮城県
198	557	〃	会津張子(赤べこ)	福島県
199	573	〃	古代べこ	福島県
200	1855	〃	会津張子(赤べこ)	福島県
201	584	〃	柏張子(牛)	千葉県
202	232	〃	大和出雲人形(俵牛)	奈良県
203	585	〃	因伯牛	鳥取県
204	587	〃	張子(神牛)	島根県

No.	資料番号	グループ	名称	製作地都道府県
205	1378	十二支ほかの動物たち	隠岐横綱牛	島根県
206	550	〃	伊予張子(横綱牛)	愛媛県
207	559	〃	沖繩張子・斗牛	沖繩県
208	506	〃	仙台張子(虎)	宮城県
209	561	〃	山形張子(ねまり寅)	山形県
210	533	〃	三春張子(向かい虎)	福島県
211	548	〃	会津張子(会津白虎)	福島県
212	509	〃	那珂湊張子(虎)	茨城県
213	542	〃	柏張子(虎)	千葉県
214	527	〃	加賀魔除虎	石川県
215	547	〃	静岡張子(虎)	静岡県
216	554	〃	浜松張り子(虎)	静岡県
217	556	〃	張子虎	静岡県
218	191	〃	伏見人形(虎)	京都府
219	504	〃	姫路張子(虎)	兵庫県
220	532	〃	張子虎	島根県
221	567	〃	張子虎	福岡県
222	514	〃	宇土張子(虎)	熊本県
223	213	〃	下川原焼(兎)	青森県
224	219	〃	中湯川土人形(卯)	福島県
225	220	〃	中湯川土人形(卯)	福島県
226	1039	〃	三春張子(玉うさぎ)	福島県
227	574	〃	那珂湊張子(兎)	茨城県
228	221	〃	今戸焼(兎)	東京都
229	1037	〃	浜松張子(兎車・兎ころがし)	静岡県
230	1658	〃	餅つき兎	愛知県
231	1312	〃	木地玩具(卯)	鳥取県
232	223	〃	出雲土人形(兎)	島根県
233	1409	〃	のごみ人形(干支土鈴・卯)	佐賀県
234	1030	〃	三春張子(竜車)	福島県
235	1322	〃	木地玩具(辰)	鳥取県
236	2299	〃	倉敷張子(十二支・辰)	岡山県
237	1314	〃	木地玩具(巳)	鳥取県
238	1025	〃	張子(十二支・巳)	島根県
239	2300	〃	倉敷張子(十二支・巳)	岡山県
240	1246	〃	八幡駒	青森県
241	1247	〃	八幡駒	青森県
242	1273	〃	弘前馬コ	青森県
243	1241	〃	チャグチャグ馬	岩手県
244	1262	〃	先陣駒	岩手県
245	1282	〃	板駒	岩手県
246	1080	〃	仙台張子(黒馬)	宮城県
247	1250	〃	木ノ下駒	宮城県
248	1083	〃	会津張子(馬)	福島県
249	1084	〃	会津張子(馬)	福島県
250	1253	〃	三春駒	福島県
251	1169	〃	きびから細工(馬)	栃木県
252	1151	〃	桐原の藁馬	長野県
253	210	〃	乙川の土人形(飾り馬)	愛知県
254	202	〃	伏見人形(飾り馬)	京都府
255	1320	〃	木地玩具(午)	鳥取県
256	1075	〃	飾り馬	島根県
257	1079	〃	倉敷張子(飾り馬)	岡山県
258	194	〃	のごみ人形(稲荷駒)	佐賀県
259	196	〃	春駒	大分県
260	798	〃	春駒	大分県
261	211	〃	佐土原土人形(馬)	宮崎県
262	1380	〃	春日有識一刀彫(未)	奈良県
263	1335	〃	木地玩具(未)	鳥取県
264	1336	〃	木地玩具(未)	鳥取県
265	1041	〃	常石張子(未)	広島県
266	815	〃	のごみ人形(干支土鈴・未)	佐賀県
267	1665	〃	唐桑の諸玩具(弾き猿)	宮城県

No.	資料番号	グループ	名称	製作地都道府県
268	215	十二支ほかの動物たち	ご幣猿	東京都
269	1394	〃	ご幣猿	東京都
270	512	〃	浜松張子(柿の葉猿)	静岡県
271	1036	〃	浜松張子(柿の葉猿)	静岡県
272	216	〃	小幡人形(桃持猿)	滋賀県
273	463	〃	住吉人形(十二支人形・喜々猿)	大阪府
274	217	〃	大和出雲人形(組猿)	奈良県
275	2301	〃	倉敷張子(十二支・申首ふり猿)	岡山県
276	245	〃	鹿猿	広島県
277	253	〃	鹿猿	広島県
278	1062	〃	鹿猿(張子)	広島県
279	424	〃	平戸の舌出し三番叟(猿)	長崎県
280	214	〃	木葉猿	熊本県
281	467	〃	木葉猿(馬乗猿)	熊本県
282	902	〃	白猿	大分県
283	1110	〃	薩摩首人形(猿の面かぶり)	鹿児島県
284	1751	〃	うそ	東京都
285	1752	〃	うそ	東京都
286	1740	〃	うそ	熊本県
287	1741	〃	うそ	熊本県
288	163	〃	下川原焼	青森県
289	172	〃	下川原焼	青森県
290	141	〃	尾崎人形(鳩笛)	宮城県
291	152	〃	中山土人形	秋田県
292	161	〃	佐野土人形(鳩)	栃木県
293	146	〃	しらこ鳩笛	埼玉県
294	250	〃	芝原人形(鳩)	千葉県
295	150	〃	今戸焼(鳩笛)	東京都
296	156	〃	水原の山口人形(鳩笛)	新潟県
297	162	〃	弥彦の目なし鳩	新潟県
298	144	〃	塩山の鳩笛	山梨県
299	145	〃	塩山の鳩笛	山梨県
300	166	〃	福鳩	岐阜県
301	169	〃	豊橋土人形(鳩笛)	愛知県
302	275	〃	名古屋土人形(鳩笛)	愛知県
303	165	〃	鳩笛	京都府
304	251	〃	大和出雲人形(鳩)	奈良県
305	252	〃	大和出雲人形(鳩)	奈良県
306	142	〃	赤坂人形(鳩)	福岡県
307	277	〃	赤坂人形(鳩)	福岡県
308	151	〃	尾崎人形(鳩笛)	佐賀県
309	155	〃	別府の土笛(鳩)	大分県
310	170	〃	別府の土笛(鳩)	大分県
311	780	〃	みくじ鳩	大分県
312	167	〃	鹿児島神宮の諸玩(鳩笛)	鹿児島県
313	1045	〃	沖繩張子(鳩)	沖縄県
314	1739	〃	笹野一刀彫(お鷹ぼっぼ)	山形県
315	1743	〃	笹野一刀彫(鶏)	山形県
316	1747	〃	笹野一刀彫(鶏)	山形県
317	1748	〃	笹野一刀彫(鶏)	山形県
318	1758	〃	笹野一刀彫(お鷹ぼっぼ)	山形県
319	1043	〃	とっと車	福島県
320	898	〃	トキ土鈴	新潟県
321	224	〃	三宝荒神の納鶏(雄鳥)	愛知県
322	225	〃	三宝荒神の納鶏(雌鳥)	愛知県
323	1044	〃	宮島張子(おしどり)	広島県
324	1995	〃	宮島張子(おしどり)	広島県
325	267	〃	津屋崎人形(ふくろう)	福岡県
326	268	〃	津屋崎土人形(雀笛)	福岡県
327	270	〃	尾崎人形(からす)	福岡県
328	696	〃	津屋崎人形(にわとり)	福岡県
329	269	〃	古賀人形(ホーホー鳥)	長崎県
330	273	〃	別府の土笛(うぐいす)	大分県

No.	資料番号	グループ	名称	製作地都道府県
331	1047	十二支ほかの動物たち	沖繩張子 (闘鶏)	沖繩県
332	1947	〃	犬っ子まつり	秋田県
333	511	〃	会津張子 (会津こま犬)	福島県
334	904	〃	芝原人形 (犬)	千葉県
335	523	〃	箆かぶり犬	東京都
336	524	〃	箆かぶり犬	東京都
337	179	〃	富山人形 (犬)	富山県
338	178	〃	中野土人形 (犬)	長野県
339	500	〃	静岡張子 (犬・狎)	静岡県
340	521	〃	浜松張子 (犬車・犬ころがし)	静岡県
341	1858	〃	浜松張子 (犬)	静岡県
342	183	〃	御守犬	奈良県
343	186	〃	吉備津のこま犬	岡山県
344	1060	〃	高松張子 (犬)	香川県
345	1375	〃	鈴斗犬	愛媛県
346	181	〃	香泉人形 (犬)	高知県
347	189	〃	帖佐人形 (犬)	鹿児島県
348	231	〃	山崎の猪	京都府
349	1034	〃	張子 (十二支・亥)	島根県
350	2302	〃	倉敷張子 (十二支・亥)	岡山県
351	1061	〃	高松張子 狸だるま	香川県
352	1144	〃	彦一こま (たぬきコマ)	熊本県
353	247	〃	今戸焼 (羽織狐)	東京都
354	246	〃	伏見人形 (馬乗り狐)	京都府
355	1054	〃	鳥取張子 (経蔵坊)	鳥取県
356	265	〃	今戸焼 (招き猫)	東京都
357	264	〃	中野土人形 (猿)	長野県
358	501	〃	静岡張子 (猫)	静岡県
359	440	〃	乙川の土人形 (招き猫)	愛知県
360	261	〃	住吉人形 (初辰猫)	大阪府
361	260	〃	狛犬 (咩形)	岡山県
362	1055	〃	薩摩首人形 (川内ガラッパ)	鹿児島県
363	257	〃	雪舟寺の鶴亀 (亀)	京都府
364	258	〃	雪舟寺の鶴亀 (鶴)	京都府
365	1659	〃	佐原張子 (亀車)	千葉県
366	436	〃	戸部蛙 (カブリ)	愛知県
367	437	〃	戸部蛙 (シマ)	愛知県
368	448	〃	戸部蛙 (租ずもう)	愛知県
369	449	〃	戸部蛙 (メッタ、イボ)	愛知県
370	1112	首人形	船渡張子 (松茸背負いおかめ)	埼玉県
371	1653	〃	船渡張子 (一本足傘)	埼玉県
372	1733	〃	おばけの金太	熊本県
373	1734	〃	おばけの金太	熊本県
374	1486	〃	春日部張子 (首人形・武士)	埼玉県
375	1501	〃	下総首人形 (水戸街道)	千葉県
376	1499	〃	佐和田の佐与吉つまみ人形	新潟県
377	1506	〃	首人形 (いちろんさんのでつころぼう)	静岡県
378	1484	〃	大津絵首人形	滋賀県
379	1511	〃	阿波の首でこ	徳島県
380	1488	〃	金比羅デコ	香川県
381	1485	〃	薩摩首人形 (薩摩隼人)	鹿児島県
382	1492	〃	薩摩首人形	鹿児島県
383	2285	〃	四日市の大入道	三重県
384	2287	〃	四日市の大入道	三重県
385	1725	さかなとくじら	柳井の金魚ちょうちん	山口県
386	1727	〃	柳井の金魚ちょうちん	山口県
387	1051	〃	祝鯛 静岡張子	静岡県
388	254	〃	堺の土人形 (鯛車)	大阪府
389	1049	〃	御坊人形 (鯛車)	和歌山県
390	1730	〃	出雲大社の灯玩具 (鯛車)	島根県
391	1286	〃	鹿児島神宮の諸玩 (鯛車)	鹿児島県
392	1732	〃	春日部張子 (鯨車)	埼玉県
393	1386	〃	鯨っ子車	愛知県

No.	資料番号	グループ	名称	製作地都道府県
394	1056	さかなとくじら	鯨車	高知県
395	1287	きじうま	あだたら山うずら車	福島県
396	2138	〃	カチカチ車	佐賀県
397	1295	〃	久峰観音のうずら車	宮崎県
398	1303	〃	うずら車	宮崎県
399	1304	〃	きじ車 清水観音のきじ車	福岡県
400	1306	〃	清水寺のきじ車	福岡県
401	1290	〃	人吉のきじ馬	熊本県
402	1291	〃	湯前のきじ馬	熊本県
403	1292	〃	湯前のきじ馬	熊本県
404	2020	〃	多良木のきじ馬	熊本県
405	2021	〃	湯前のきじ馬	熊本県
406	2022	〃	湯前のきじ馬	熊本県
407	2023	〃	湯前のきじ馬	熊本県
408	1288	〃	きじ車	大分県
409	1670	動かすおもちゃ	回りねずみ	愛知県
410	1074	〃	串馬 (赤・白)	愛知県
411	1263	〃	春駒	岡山県
412	1666	〃	下総首人形 (かぐや姫・人形)	千葉県
413	1647	〃	東照宮の牛若と弁慶 (牛若)	愛知県
414	1661	〃	東照宮の牛若と弁慶 (弁慶)	愛知県
415	1682	〃	板角力	熊本県
416	970	姉様人形	中山土人形 (串姉コ)	秋田県
417	971	〃	中山土人形 (串姉コ)	秋田県
418	988	〃	中山土人形 (串姉コ)	秋田県
419	974	〃	庄内姉様	山形県
420	975	〃	庄内姉様	山形県
421	986	〃	松本姉様人形	長野県
422	977	〃	松江姉様人形	島根県

## (2) 美術展「松戸のたからもの 松戸市の美術コレクション」

### ◆展示意図

松戸市教育委員会が美術館構想のもとに収集してきた松戸ゆかりの美術家（松戸に住んだ美術家および東京高等工芸学校・千葉大学工学部出身の美術家）たちの作品と関連資料を展観した。

展示に加えて、「楽しい！新しい！懐かしい！」をコンセプトに、子ども向けの2種類のレベルのクイズを用意して全問正解者にはプレゼントを用意し、また展示室前のロビーで、来館者が遊び感覚で参加できる「美術DE遊ぼう」コーナー（「なりきり須美子さん」、「展覧会のチラシをつくろう！」、「シルクスクリーンをやってみよう！」）を設けるなど、子どもにとっては楽しく、大人にとっては新たな発見があり、ご年配の方が懐かしさを覚えるような仕掛けを盛り込んだ。

◆主催 松戸市教育委員会（担当：社会教育課美術館準備室  
担当学芸員：小川玲美子、田中典子）

◆会期 令和2年7月23日（木・祝）～8月30日（日）  
（開催日数 34日）

◆後援 JOBAN アートライン協議会

◆助成 自治総合センター

◆会場 松戸市立博物館企画展示室

◆協力 新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社

◆観覧者数 2,142人

◆観覧料 一般310円、高大生150円

◆出品点数 全95点および参考資料9点

◆印刷物（デザイン：SHIMA ART&DESIGN STUDIO）

ポスター	B2判	200枚
	B3判	900枚
	A3判	3,100枚
チラシ	A4判	7,000枚
観覧券（5種）		4,500枚
小冊子	A5判32頁	2,500部



◆関連事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催日、会場、募集人数、内容等を変更して実施した。

(1) 『板倉鼎・須美子書簡集』刊行記念レクチャー（全2回）

① 「パリの、海と金魚鉢—板倉鼎・須美子と岡鹿之助」

② 「『板倉鼎・須美子書簡集』ができるまで」

対象者 一般

開催日時 ①8月2日（日） ②8月23日（日） 両日共14時～15時30分

会場 松戸市民会館301会議室

講師 ①貝塚 健氏（〔公財〕石橋財団アーティゾン美術館教育普及部長、美術史研究者）

②川崎 キヌ子氏（和洋女子大学名誉教授、書簡集監修者）、田中 典子（社会教育課美術館準備室学芸員、書簡集編纂者）

参加人数 ①15人 ②33人

内容 ①では板倉夫妻と岡鹿之助を中心に、パリに集まった画家たちが互いに影響し合いながら自分の様式を獲得していった過程を豊富な資料にもとづいて検証した。②では調査か

ら書簡集の編集・監修までの過程を報告し、書簡にみる板倉夫妻の留学生活と作品について紹介した。

(2) 子どもワークショップ「ミニチュア家具作りにチャレンジ！」

対象者 松戸市在住の小学校4～6年生を含めた4家族  
 開催日時 8月8日(土) 午前の回9時～12時、午後の回13時～16時  
 会場 森の工芸館(21世紀の森と広場内)  
 講師 泉晴行・鶴沼豊(松戸市教育委員会学習支援専門員)  
 参加人数 午前の回9人(大人4人、子ども5人)、午後の回11人(大人5人、子ども6人)  
 内容 展覧会場で剣持勇の《安楽椅子 OM5048》を鑑賞してから、1/4縮尺の展開図をもとに、スチレンボード、クロスシート等を使ってミニチュア版の安楽椅子を制作した。

(3) 松戸の作家の紹介講座「表現についての講演+雅楽パフォーマンス 人生50年♥創って生きてきたぜよ♥LOVE松戸」

対象者 松戸市内小中高校生、一般  
 開催日時 11月23日(月・祝) 15時～16時30分  
 会場 松戸市民劇場ホール  
 講師 成田久氏(アーティスト、SHISEIDOクリエイティブ本部アートディレクター)  
 雅楽演奏 額瀬拓也氏(龍笛)、三浦元則氏(箏)  
 参加人数 107人  
 内容 かつて活躍した松戸ゆかりの作家を紹介する展示に加えて、現在の松戸に根づく芸術文化を伝えるため、多彩な創作活動で知られる松戸出身・在住の気鋭のアーティスト・アートディレクター、成田久氏を招いた。前半では成田氏が「僕のクリエイション」と題して映像とトークで楽しく講演し、後半では二人の雅楽師が成田氏のデザイン・制作によるコスチュームを身に付けて演奏した。

(4) おうちで展覧会

当初計画していた学芸員のギャラリートークに替えて、松戸市公式ホームページ内の「松戸市デジタル美術館」で展示作品と解説等を動画で公開している。

◆展示作品・資料

no.	作者	題名	制作年	高さ	縦(奥行)	横(幅)	直径	材質・技法
1	松岡壽	子守	1891年		45.6	27.5		キャンバス、油彩
2	松岡壽	海岸風景	1883年		12.3	23.3		キャンバス、油彩
3	松岡壽	逗子の風景	1939年		45.6	53		キャンバス、油彩
4	松岡壽	バラ	1933年		33.2	24.6		キャンバス、油彩
5	田中寅三	温室*	1913年		40.7	53.1		キャンバス、油彩
6	田中寅三	サンクガーデン 園芸学校*	不明		33.2	24.1		紙、鉛筆、水彩
7	田中寅三	水元村	1939年		23.9	32.9		キャンバスボード、油彩
8	田中寅三	風景*	不明		24	32.8		キャンバスボード、油彩
9	田中寅三	航海中の甲板	不明		23.6	32.8		キャンバスボード、油彩
10	和田香苗	木々と屋根*	不明		41	27.5		キャンバス、油彩

no.	作者	題名	制作年	高さ	縦(奥行)	横(幅)	直径	材質・技法
11	和田香苗	自画像(逆光)*	1915年7月		45.7	33.4		キャンバス、油彩
12	和田香苗	ヴェトウイユ風景 (6月10日)*	1922年 6月10日		15.6	22.8		キャンバスボード、油彩
13	和田香苗	ヴェトウイユ風景 (6月11日)*	1922年 6月11日		14.7	22.6		キャンバスボード、油彩
14	和田香苗	女と百日草	1924年		90.8	72.8		キャンバス、油彩
15	板倉鼎	風景 秋更け行く	1920年		53	73		キャンバス、油彩
16	板倉鼎	沼	1924年		45.3	53		キャンバス、油彩
17	板倉鼎	野菜	1927年頃		38	55		キャンバス、油彩
18	板倉鼎	金魚と烏貝	1927年頃		46	55		キャンバス、油彩
19	板倉鼎	仮面のある静物*	1927年頃		38	46		キャンバス、油彩
20	板倉鼎	アネモネ*	1927～ 1929年頃		45.7	38		キャンバス、油彩
21	板倉鼎	風景(巴里街頭)	1928年		59.5	92		キャンバス、油彩
22	板倉鼎	画家の像	1928年12月		117	80		キャンバス、油彩
23	板倉鼎	休む赤衣の女*	1929年頃		110.3	142		キャンバス、油彩
24	板倉鼎	ダリアと少女	1929年頃		91.7	91.8		キャンバス、油彩
25	板倉須美子	午後 ベル・ホノルル 12	1927～ 1928年頃		80	115.2		キャンバス、油彩
26	板倉須美子	ベル・ホノルル 14	1927～ 1928年頃		40.8	27		キャンバス、油彩
27	板倉須美子	ベル・ホノルル 24	1928年頃		64	80.5		キャンバス、油彩
28	板倉(昇) 須美子	風景*	不明		31.5	39.6		キャンバス、油彩
29	森谷延雄	朱の食堂食卓子	1925年 (2008年復原)	71	108.9	108.9		塗装した檜
30	森谷延雄	朱の食堂茶卓子	1925年 (2008年復原)	71	49.5	49.5		塗装した檜
31	森谷延雄	朱の食堂肘掛椅子	1925年 (2008年復原)	91	67	61		塗装した檜、布
32	森谷延雄	書架	1924年	120.5	35.6	84.5		木
33	森谷延雄	ベンチ	1924年	36	47.8	93.5		木、金属
34	豊田勝秋	灰皿(2枚組)	1931年	1.6			13.6	金属
35	豊田勝秋	鋳銅花生	1953年	25.8			17.7	ブロンズ
36	豊田勝秋	鋳銅花器(独楽手)	1964年	31.3			30	ブロンズ
37	豊田勝秋	鋳銅花生寿恵広	1967年	34.6			21.1	ブロンズ
38	土屋幸夫	コンポジション	1930年		46	54		キャンバス、油彩
39	土屋幸夫	〈男〉又は自画像	1952年		45.5	33.5		キャンバス、油彩
40	土屋幸夫	黒のオブジェ・夜間作業 2	1970年代		53	40		色紙、シルクスクリーン
41	土屋幸夫	透視する自我	1995年		41.6	33		厚紙、パステル、水彩
42	寺畑助之丞	潮	不明	125	50	60		石膏原型
43	寺畑助之丞	聖徳太子立像	1934年	171	60	69		石膏原型
44	寺畑助之丞	樹蔭	1962年	64		76.3		石膏原型
45	奥山儀八郎	建築	1929年		8.2	10		紙、木版(墨摺)
46	奥山儀八郎	ニッケ背広とオーバー	不明		72.5	48.5		紙、リノリウム版(多色摺)
47	奥山儀八郎	凶作地を救へ	1934年		72.5	48.4		紙、木版(多色摺り)

no.	作者	題名	制作年	高さ	縦(奥行)	横(幅)	直径	材質・技法
48	奥山儀八郎	ニッケ夏服地	1937年		78	53		紙、木版(多色機械印刷)
49	奥山儀八郎	本邦に於ける本格的ウキスキーの開宗たる竹鶴政孝先生之像	1939年		36	24.4		紙、木版(多色摺)
50	奥山儀八郎	帝国議事堂	1941年		22.2	28.1		紙、木版(多色摺)
51	奥山儀八郎	東京中央停車場	1941年		22.5	28.4		紙、木版(多色摺)
52	奥山儀八郎	矢切れの渡し	1955 ～1958年頃		47.2	21.6		紙、木版(墨摺)
53	奥山儀八郎	タンギー像	1957年		47.1	37.3		紙、木版(多色摺)
54	奥山儀八郎	珈琲遍歴	1957年頃		50.4	35.5		紙、木版(多色摺)
55	奥山儀八郎 著、装幀 旭 屋出版発行	珈琲遍歴	1963年		21.5	15.8		図書(表紙:紙、木版(墨摺)印刷)
56	奥山儀八郎	利根川	1969年		36.4	49.2		紙、木版(墨摺)
57	大橋正	夏の研彩会 夏の銘仙研彩会	1939年		40	77.1		紙、凸版・網版
58	大橋正	明治チョコレートキャラメル デラックス	1957年頃		109.7	79.4		紙、シルクスクリーン
59	大橋正	明治コーヒーキャラメル (赤紫地)	1956年頃		106.4	74.8		紙、シルクスクリーン
60	大橋正	御贈答に美しい缶入りキッ コマン醤油	不明		51.6	36.4		紙、凸版 網版
61	大橋正	春の京美会 春の雑貨研彩会	1938年		39.9	77.1		紙、凸版・網版
62	大橋正	日本の味どころ マッチ	1968年頃	2	12.5	19		紙、凸版・網版
63	大橋正	バーモントキャラメル箱	不明	1.9	8	4.5		紙、凸版・網版
64	大橋正	レモンドロップ缶	不明	2			5	金属
65	大橋正	スクラップブック 明治製菓 雑誌広告(コーヒーキャラメル他)	1957年頃		30.6	21.7		紙、印刷
66	大橋正	スクラップブック 「キッコちゃん 初期」	1950年代頃		30.7	23.9		紙、インク、鉛筆、 印面紙、モノクロプリント
67	宮之原謙	象嵌波花壺	不明	21.2		30.3		陶磁器
68	宮之原謙	釉彩ゴルフ皿	1939年	5.5			29.6	陶磁器
69	宮之原謙	象嵌磁唐草盛上皿	1955年	6			34.3	陶磁器
70	宮之原謙	金砂釉四方耳象嵌壺	1969年	32		27.5		陶磁器
71	宮之原謙	彩盛磁泰山木花瓶	1972年	41		30.3		陶磁器
72	宮之原謙	彩盛磁パラボラ香炉	不明	14.6		13.1		陶磁器
73	宮之原謙	彩盛磁アゼリヤ皿	1949年	5.5			30.3	陶磁器
74	宮之原謙	象嵌磁盛上百合香炉	1950年頃	17.7		17.7		陶磁器
75	長田国夫	自画像	不明		80.4	65.1		油彩
76	長田国夫	葱畑	1983年		72.4	91.3		油彩
77	長田国夫	原爆ドーム	1983年		77	110.9		油彩
78	赤穴 宏	街なみ	1950年頃		60.3	72.8		キャンバス、油彩
79	赤穴 宏	ワイングラスとふたつの壺	1998年		73.5	73		キャンバス、油彩
80	剣持勇デザイン 研究所	ペンダントライト	1962年		60.5	75		プラスチック、金属
81	剣持勇デザイン 研究所	イージーチェア-5005	1958年	77	76	63.5		布、成型合板

no.	作者	題名	制作年	高さ	縦(奥行)	横(幅)	直径	材質・技法
82	剣持勇デザイン研究所	安楽椅子 OM5048	1967年	65	75	75		布、成型合板
83	剣持勇デザイン研究所	テーブル OM2016	1967年	45	60	60		ケヤキ、成型合板
84	剣持勇	スツール S-302	1961年	35			26.5	籐
85	竹内栄三郎	フランス式庭園 (千葉大学園芸学部)*	不明		46	53.2		キャンバス、油彩
86	竹内栄三郎	虹*	不明		33.8	45.9		キャンバス、油彩
87	渋谷克己	即興的風景	1988年		91	116.7		キャンバス、油彩
88	渋谷克己	風に	1996年		116.7	116.7		キャンバス、油彩
89	及川修次	岩崎鬼剣舞 (北上市)	1967年		25.4	30.5		ゼラチンシルバープリント
90	及川修次	中島家 明川 (利根郡みなかみ町)	1978年 10月2日		22	29.2		ゼラチンシルバープリント
91	及川修次	秋日和はひなたが一番 藤原 (利根郡みなかみ町)	1978年 10月1日		22	29.2		ゼラチンシルバープリント
92	及川修次	古利根川のたそがれ 満々とした流れに釣り場を求める (松伏町)	1982年 4月24日		20.5	29.4		ゼラチンシルバープリント
93	及川修次	矢切の渡し 江戸川 (松戸市)	1975年 2月21日		32.9	44.2		ゼラチンシルバープリント
94	及川修次	マコモ茂る舟繋ぎ場 霞ヶ浦 麻生町 (行方市)	1975年 11月8日		33	44		ゼラチンシルバープリント
95	及川修次	銚子港 夏の花火大会 (銚子市)	1975年 8月2日		44	33		ゼラチンシルバープリント

※題名不詳の作品・資料については適宜仮題をつけ、続けて\*を付した。

※サイズの単位は cm

※ no.23 は個人蔵 (松戸市教育委員会寄託)

※参考出品 9 点は割愛

## (2) 企画展「松戸と徳川将軍の御鹿狩」

### ◆展示意図

江戸時代、徳川幕府の将軍たちは、いまの松戸市松飛台付近の小金原で18世紀から幕末にかけて御鹿狩を行った。御鹿狩は、小金原の害獣駆除・江戸幕府直属家臣の旗本たちへの武芸奨励、江戸周辺での軍事訓練など、様々な意味を持つ一大イベントであった。本企画展では、4回行われた御鹿狩についての古文書・絵図・浮世絵、弓矢・鉄炮などの歴史資料だけでなく、江戸時代の小金原にいた日本在来馬（木曾馬）の剥製などからも御鹿狩を考えた。

◆主催 松戸市立博物館（企画担当 富澤達三〈当館学芸員〉）

◆後援（公財）松戸市文化振興財団 （公財）松戸市国際交流協会  
千葉テレビ放送株式会社

◆協力 新京成電鉄株式会社 北総鉄道株式会社 流鉄株式会社

◆会期 令和2年9月26日（土）～11月15日（日）  
（開催日数44日間）

◆会場 松戸市立博物館 企画展示室

◆観覧者数 4,671人

◆観覧料 一般 300円（団体240円 共通500円）  
高大生 150円（団体100円 共通250円）  
小中学生 無料

◆印刷物 展示図録 A4判 1,500冊  
ポスター B2判 700枚  
B3判 410枚  
チラシ A4判 20,000枚  
展示資料リスト A4判 3,000部（館で両面印刷）  
まつどととくがわしょうぐんのおししがりクイズ  
A4判 2,000部（館で印刷）

◆解説動画 「10分でわかる！令和2年企画展『松戸と徳川将軍の御鹿狩』」（令和2年10月21日から当館ホームページにて公開）

### ◆関連企画

#### （1）記念講演会

※記念講演会は、森のホール21 レセプションホールで行った。

- ・記念講演会①「将軍御鹿狩後始末（あとしまつ）—狩後の将軍と獲物の行方—

対象者 一般

開催月日 令和2年10月11日（日）13時00分～15時00分

講師 高見澤美紀氏（國學院大学兼任講師）

参加人数 92人

- ・記念講演会②「祝祭としての御鹿狩」

対象者 一般

開催月日 令和2年10月24日（土）13時00分～15時00分

講師 椿田有希子氏（横浜市立大学非常勤講師）

参加人数 86人

#### （2）学芸員講演会

- ・学芸員講演会「さまざまな御鹿狩資料」



対象者 一般  
開催月日 令和2年11月1日(日)13時00分～15時00分  
講師 富澤達三(当館学芸員)  
参加人数 37人

(3) イベント「まるごと江戸時代!!」

・企画展に関連し、21世紀の森と広場・森のホール21・森のこども館などと、江戸時代がテーマの各種イベントを行った。

①江戸時代謎解きラリー

対象者 景品は小学生以下が対象  
開催月日 令和2年9月26日(土)～11月15日(日)10時00分～16時00分(月曜休)  
内容 博物館、21世紀の森と広場、森のホール21を回って謎解きラリーを行う。  
シート(配布数1,000枚)は、上記3か所かHPからダウンロードして入手する。  
参加人数 435人

②江戸ポストカードづくり

対象者 景品は小学生以下が対象  
開催期間 令和2年10月1日(木)～11月15日(日)9時45分～16時00分(月曜休)  
内容 博物館プレイルームで江戸時代の絵を元にしたぬり絵をし、ポストカードを作るもの。  
参加人数 163人

③御鹿狩パズルに挑戦

開催期間 令和2年9月26日(土)～11月15日(日)9時45分～16時00分(月曜休)  
内容 博物館のプレイルームで江戸時代の浮世絵を元にした、パズルを行うもの。  
参加人数 85人

④江戸おりがみ体験

開催期間 令和2年10月2～4日(木～土)、11月6～8日(木～土)10時00分～16時00分  
内容 森の工芸館で、江戸文化に関連する折り紙を作った。  
参加人数 613人

⑤講座：ロンドンやパリよりきれいと言われた「循環型100万都市江戸」を野菜栽培と食文化から学ぼう

開催月日 令和2年11月3日(火・文化の日)10時00分～11時30分  
講師 丸尾達氏(千葉大学大学院園芸学研究科教授)  
参加人数 15人(事前申込制)

⑥講演会「面白発見!江戸の文化を覗いてみたら!」

開催月日 令和2年11月15日(日)14時00分～16時00分  
内容 森のホール21小ホールにて。鳥光宏氏のプロデュースによる三味線演奏・落語などを交え、江戸文化を皆様に紹介するタイムトラベル企画。  
講師 鳥光宏氏、コリン・シュムコー氏、中台慶介氏、石野ゆう子氏  
参加人数 120人

⑦ネイチャーゲーム「徳川の秘宝を探せ」

開催月日 令和2年11月7日(土)13時30分～15時30分  
内容 常盤平児童館にて。江戸時代が主題のゲームを通して自然に親しみ達成感を得るもの。  
参加人数 81人

⑧江戸時代の食文化体験

開催月日 令和2年9月26日(土)～11月15日(日)(不定休)

内 容 絶品いのししカレー（税込み 700 円、21 世紀森の広場・里の茶屋）、  
江戸風和定食（税込 500 円、21 世紀森の広場・カフェテラス）

◆展示資料

プロローグ

No.	資料名	年代	所蔵
1	日本在来馬剥製（木曾馬 第三春山号）	昭和時代	開田郷土館

1、小金原御鹿狩

No.	資料名	年代	所蔵
2	享保小金原御場絵図（10/19～11/1 展示）	享保 10 年（1725）	国立公文書館
3	享保乙巳小金中野牧御鹿狩之図（10/5～18 展示）	享保 10 年（1725）	国立公文書館
4	従殿様郡御奉行御代官衆中江被仰付候御書付之写 左のごとし	享保 10 年（1725）	流山市立博物館
5	一札之事	享保 12 年（1727）	流山市立博物館
6	寛政御狩場御夜勢子立切内明細図（10/19～11/1 展示）	寛政 7 年（1795）	国立公文書館
7	寛政五本木小屋場絵図（10/5～18 展示）	寛政 7 年（1795）	国立公文書館
8	寛政小金御場並小屋場松戸市川通大絵図（10/19～11/1 展示）	寛政 7 年（1795）	国立公文書館
9	寛政七年小金原御鹿狩絵図	寛政 7 年（1795）	松戸市立博物館（松戸市指定文化財）
10	寛政小金御成道絵図（11/2～15 展示）	寛政 7 年（1795）	国立公文書館
11	下総小金乃原御狩之図	寛政 7 年（1795）	松戸市立博物館
12	小金原御鹿狩並伊達羽織	寛政 7 年（1795）	東京都江戸東京博物館
13	小金御狩乃図（10/6 より後半部展示）	寛政 7 年（1795）	松戸市立博物館
14	下総国小金ヶ原御鹿狩之絵図	寛政 7 年（1795）	松戸市立博物館
15	御狩の記 四（7日毎に頁替え）	嘉永 2 年（1849）	東京都江戸東京博物館
16	嘉永小金御狩場之図（10/5～18 展示）	嘉永 2 年（1849）	国立公文書館
17	御猪狩小金原御場所図	嘉永 2 年（1849）	松戸市立博物館
18	御猪狩小金原御場所図（番付）	嘉永 2 年（1849）	松戸市立博物館
19	小金原鹿狩瓦版	嘉永 2 年（1849）	国立歴史民俗博物館
20	御鹿狩小屋掛人足札	嘉永 2 年（1849）カ	松戸市立博物館
21	小金原御狩記（後半部を展示）	嘉永 2 年（1849）以降	神奈川県立公文書館
22	諸土方高名手柄 小金山麓之地理（7日毎に頁替え）	嘉永 2 年（1849）	松戸市立博物館
23	かわら版 御立場	嘉永 2 年（1849）	松戸市立博物館
24	かわら版 御鹿狩	嘉永 2 年（1849）	松戸市立博物館

2、御鹿狩と武器

No.	資料名	年代	所蔵
25	陣羽織	江戸時代	国立歴史民俗博物館
26	陣笠	江戸時代	国立歴史民俗博物館
27	緋羅紗地三葵紋陣羽織（複製）	現代	松戸市戸定歴史館
28	仁右衛門村塗弓	江戸時代	靖國神社遊就館
29	白猪土俵空穂	江戸時代	靖國神社遊就館

No.	資料名	年代	所蔵
30	正平韋張箆	江戸時代	靖國神社遊就館
31	陣螺	江戸時代	靖國神社遊就館
32	鍬	江戸時代	個人
33	火縄銃 (3 匁 5 分玉)	江戸時代	靖國神社遊就館
34	火縄銃 (6 匁 5 分玉)	江戸時代	靖國神社遊就館
35	火縄大筒 (50 匁玉)	江戸時代	国立歴史民俗博物館
36	流鏑馬装束一式 (①綾藺笠 ②引立烏帽子 ③④鎧直垂 ⑤射籠手 ⑥騎射躰 ⑦行膝 ⑧弦巻 ⑨太刀・前差 ⑩物射杵・足袋 ⑪鞭)	現代	弓馬術礼法小笠原教場
37	重藤弓	現代	弓馬術礼法小笠原教場
38	①征矢 ②雁又矢 ③箆 ④流鏑馬練習用木馬	現代 (③のみ江戸時代)	弓馬術礼法小笠原教場

### 3、小金牧の野獣

No.	資料名	年代	所蔵
なし	牡鹿剥製	現代	国立科学博物館
なし	猪剥製	現代	国立科学博物館
なし	狐剥製	現代	国立科学博物館
なし	狸剥製	現代	国立科学博物館
なし	野兎剥製	現代	国立科学博物館

### 4、牧士が駆ける

No.	資料名	年代	所蔵
39	野羽織	江戸時代	富里市教育委員会 (千葉県指定文化財)
40	鞍	万治元年 (1658)	富里市教育委員会 (千葉県指定文化財)
41	鎧	江戸時代	富里市教育委員会 (千葉県指定文化財)
42	障泥	江戸時代	富里市教育委員会 (千葉県指定文化財)
43	吊革	江戸時代	富里市教育委員会 (千葉県指定文化財)
44	酒入れ	江戸時代	富里市教育委員会 (千葉県指定文化財)
45	はみ	江戸時代	富里市教育委員会 (千葉県指定文化財)
46	水呑み	江戸時代	富里市教育委員会 (千葉県指定文化財)
47	馬柄杓	江戸時代	富里市教育委員会 (千葉県指定文化財)
48	御鹿狩世話役與惣兵衛肖像画 (歌川芳基)	嘉永 2 年 (1849)	個人
49	勢子幟	江戸時代	流山市立博物館
50	勢子装束	江戸時代	流山市立博物館
51	勢子采配 (寛政御鹿狩)	寛政 7 年 (1795)	柏市教育委員会
52	勢子采配 (嘉永御鹿狩)	嘉永 2 年 (1849)	柏市教育委員会
53	勢子采配木札 (寛政御鹿狩)	明治 6 年 (1873)	柏市教育委員会
54	勢子采配木札 (嘉永御鹿狩)	明治 6 年 (1873)	柏市教育委員会
55	御酒頂戴小前御請印帳	嘉永 2 年 (1849)	松戸市立博物館
56	御酒頂戴小前御請印帳	嘉永 2 年 (1849)	流山市立博物館

## 6、浮世絵のなかの御鹿狩

No.	資料名	年代	所蔵
57	源頼朝公富士之裾野牧狩之図（歌川国貞）	文化期カ	国立歴史民俗博物館
58	富士の裾野巻狩之図（歌川貞秀）	嘉永元年(1848)	松戸市立博物館
59	源頼朝公富士嶺牧狩之図（歌川国芳）	嘉永5年(1852)	国立歴史民俗博物館
60	富士裾野御狩図（歌川景秀）	嘉永6年(1853)	国立歴史民俗博物館
61	富士巻狩の図（歌川貞秀）	慶応元年(1865)	国立歴史民俗博物館
62	頼朝公富士巻狩之図（歌川芳員）	安政6年(1859)	国立歴史民俗博物館
63	温故東の花 第五篇 将軍家於小金原御猪狩之図（楊洲周延）	明治22年(1889)	松戸市立博物館
64	千代田之御表 小金原牧狩立場之図（楊洲周延）	明治30年(1897)	松戸市立博物館
65	千代田之御表 小金原牧狩ノ図（楊洲周延）	明治30年(1897)	松戸市立博物館
66	千代田之御表 小金原牧狩引揚ノ図（楊洲周延）	明治30年(1897)	松戸市立博物館
67	将軍猪狩松戸駅舟橋行列之図（東州勝月）	明治22年(1889)	松戸市立博物館
68	千代田之御表 松戸宿船橋（楊洲周延）	明治30年(1897)	松戸市立博物館
69	徳川十五代記略（歌川芳藤）	明治時代	松戸市立博物館
70	大樹十五世 十二代将軍家慶公 大樹十五世 十三代将軍家定公（歌川芳年）	明治8年(1875)	松戸市立博物館

## 7、江戸川の船橋

No.	資料名	年代	所蔵
71	船橋完成図	江戸時代	野田市郷土博物館
72	松戸宿図絵（かわら版）	嘉永2年(1849)	松戸市立博物館
73	幟（松戸金町渡船橋 御用）	江戸時代	松伏町教育委員会
74	船橋舟	江戸時代	野田市郷土博物館
75	船橋綱	江戸時代	野田市郷土博物館
76	乍恐以書付奉願上候	嘉永元年(1848)	松伏町教育委員会
77	覚（杉角御払下ニ付入札）	嘉永2年(1849)	松伏町教育委員会
78	松戸金町 境御船橋掛渡御普請中日記帳	嘉永元年(1848)	松伏町教育委員会
79	麒麟丸絵図	江戸時代	船の科学館
80	麒麟丸模型	明治時代	東京国立博物館

### (3) 学習資料展・子どもミュージアム「松戸探検 90年まえからのくらしのうつりかわり」

#### ◆展示意図

本展示会は小学校3年生の社会科カリキュラムに対応したもので、90年ぐらい前の農家のくらしを展示し、さらに90年ぐらい前から撮影された松戸の写真によって、その姿の変化を表している。今のくらしにどのように変わってきたかを子どもたちに伝えている。

◆主催 松戸市立博物館(企画担当 青木 俊也〈当館学芸員〉)

◆会期 令和3年1月20日(水)～3月31日(水) [59日間]

◆会場 松戸市立博物館企画展示室

◆観覧者数 4,159人

市内小学校4校見学

◆観覧料 無料

◆印刷物 ポスター B2判 10枚(館で印刷)

チラシ A4判 10,000枚

探検手帳 A4判3枚折 500枚(館で印刷)

◆解説動画 「10分でわかる! 令和2年度学習資料展 子どもミュージアム『松戸探検 90年前からのくらしのうつりかわり』」(令和3年2月25日から当館ホームページにて公開)



#### ◆展示資料

##### <1>住まう

資料名	
農家(模型 1/20)	農家の間取り(模型 1/20)

##### <2>食べる

###### (1) かまど

資料名				
かまど(2点) ( 鋳物、模型 1/1)	まき	火吹き竹(1点)	十能	火挟み
火消し壺	七輪(2点)	渋うちわ(2点)	炭入れ	鉄瓶

###### (2) ご飯を炊く

資料名				
米櫃	一升枡(2点)	五合枡(2点)	一合枡	一斗枡
斗かき	米研ぎ桶	あげざる	羽釜(2点)	飯櫃(2点)
杓文字	飯櫃入れ			

###### (3) おかずを煮炊きする

資料名				
鉄鍋	銅行平鍋	杓子	焼き網	焙烙
せいろ	すり鉢	すりこ木	おろし金(金属製)	おろし金(陶製)
かつお節削り	脚付きまな板	杓文字掛け	あげざる	酒德利
醤油德利				

###### (4) 食卓

資料名				
普段のお膳	飯茶碗(2点)	汁椀(2点)	四つ椀	行事のお膳
ちゃぶ台(2点)	土瓶	茶碗(4点)		

(5) 水まわりのくらし

資料名				
井戸車	釣瓶桶	手押しポンプ	手桶	水瓶
柄杓	流し台	洗い桶		

(6) 食べ物の保存

資料名		
蠅帳(2点)	甕(3点)	漬け物樽(2点)

< 3 > 着る

(1) 着物

資料名			
女の単衣の着物	女の袷の着物と羽織	男の袷の着物と羽織	男子の袷の着物と羽織

(2) 着物がどんな糸で織られているか、見てみよう!

資料名		
木綿の着物	木綿の着物の素材(綿花・木綿糸・紬糸・木綿布)	麻の着物
麻の着物の素材(麻・麻糸・麻布)	絹の着物	醬絹の着物の素材(繭・真綿・絹糸・絹布・紬糸・紬布)

(3) 裁縫

資料名			
針箱	くけ台	尺差し	裁ち板

(4) 洗濯

資料名				
たらい	金だらい	洗濯板	洗濯石鹸	鍔
火のし	炭火アイロン			

< 4 > くらす

(1) 冬のくらし

資料名				
火鉢	五徳	火箸	灰ならし	鉄瓶
炭おこし	十能(炭運び)	炭入れ	やぐら炬燵(2点)	行火
湯たんぼ(陶製)	湯たんぼ(ブリキ製)	掻い巻き布団	敷布団	

(2) 夏のくらし

資料名				
蚊帳	蚊遣りぶた	うちわ	すだれ屏風	すだれ
布団一式(敷布団・掛布団・枕)				

(3) 明かり

資料名				
燭台	手燭	行灯	がんどう	小田原提灯
ランプ(2点)	蛍光灯スタンド			

(4) 掃除

資料名		
座敷ぼうき	ぞうきん	バケツ

(5) 聞く

資料名	
蓄音機	ラジオ

< 5 > 写真で見る松戸のうつりかわり

1) 知ってる場所、あるかな? ~昭和時代などの松戸の写真~

展示内容	資料名称
大正から昭和時代にかけて撮影された市内各所の写真を、松戸市の地図とともに1枚の大きなパネルに表示し展示した。	小金城趾駅 (1967年 / 昭和42年)
	北小金駅前 (1954年 / 昭和29年)
	稲刈り (1952年 / 昭和27年)
	夏の姉妹 (1951年 / 昭和26年)
	農家の働く妻と姉妹 (1954年 / 昭和29年)
	流山鉄道：流鉄馬橋駅 (1968年 / 昭和43年)
	台風24号の水害 (馬橋駅西口) (1981年 / 昭和56年)
	畑の妻とその母 (1954年 / 昭和29年)
	六間川 (1935年 / 昭和10年頃)
	北松戸駅 (1958年 / 昭和33年)
	小僧弁天 (1936年 / 昭和11年頃)
	坂川排水機 (樋野口) (1909年 / 明治42年)
	陸軍工兵学校 (1936年 / 昭和11年以前)
	松戸小学校 (1930年 / 昭和5年頃)
	千葉県立園芸高等学校 (1929年 / 昭和4年以前か)
	凍った坂川 (1935年 / 昭和10年頃)
	春雨橋と小僧さん (1936年 / 昭和11年)
	松戸角町 (1936年 / 昭和11年以前)
	江戸川の釣り (1934年 / 昭和9年)
	葛飾橋 (1936年 / 昭和11年以前)
	松戸町水泳場 (1915年 / 大正4年)
	江戸川 (1936年 / 昭和11年)
	矢切の渡し船 (1968年 / 昭和43年)
	常盤平団地 (1962年 / 昭和37年)
	団地の家族 (1960年 / 昭和35年)
	子和清水 (1958年 / 昭和33年)
	八柱霊園 (1936年 / 昭和11年頃)
	六実ゴルフ場 (1936年 / 昭和11年以前)
六実駅改札 (1983年 / 昭和58年)	

(2) 知ってる場所、あるかな?～昭和時代と令和時代の写真をくらべてみよう～

展示内容	資料名称
<p>松戸市の地図上に示された 27 地点の昭和時代と令和時代の同じ地点の写真を並べて展示した。</p>	幸田第一公園 (1987 年 /2019 年)
	新松戸駅 (旧国鉄 /JR) (1973 年 /2019 年)
	小金城址駅 (流鉄流山線) (1967 年 /2019 年)
	旭町 坂川端の石造物 (1986 年 /2019 年)
	馬橋駅 (流鉄流山線) (1954 年 /2019 年)
	馬橋駅 (旧国鉄 /JR) (1968 年 /2019 年)
	北松戸競輪場前踏切 / 北松戸競輪場前歩行者用の橋 (旧踏切) (1973 年 /2019 年)
	上本郷駅 (新京成線) (1970 年 /2019 年)
	古ヶ崎小僧弁天 (1936 年 /2019 年)
	松戸駅西口 (1957 年 /2019 年)
	松戸駅東口商店街 (1971 年頃 /2019 年)
	坂川市民清掃行動デー / 坂川 (1988 年 /2019 年)
	下横町の旧渡道場 (1977 年 /2019 年)
	角町交差点 (1985 年 /2019 年)
	北小金駅前 (1954 年 /2019 年)
	北小金駅 (旧国鉄 /JR) (1954 年 /2019 年)
	小金原若芝交差点 (1986 年 /2019 年)
	常盤平駅 (新京成線) (1966 年 /2019 年)
	常盤平スロープ歩道 (1974 年 /2019 年)
	五香駅前商店街 (1970 年頃 /2019 年)
	五香駅 (新京成線) (1970 年 /2019 年)
	六実駅 (旧東武野田線 / 東武アーバンパークライン) (1970 年 /2019 年)
	常盤平 子和清水 (1986 年 /2019 年)
	八柱霊園 (1936 年 /2019 年)
	河原塚古墳 (1986 年 /2019 年)
	八柱駅 (新京成線) (1970 年 /2019 年)
	運動公園体育館 (1974 年 /2019 年)

### 3 学習支援

#### (1) 講演会

##### ■館長講演会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

演 題 「家形埴輪をよみとく」

対 象 者 一般

開催月日 令和2年9月20日(日)を令和3年3月14日(日)に変更するも中止

会 場 当館講堂

##### ■歴史を語る

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全て中止

第1回 演 題 「(仮) 東日本大震災復興における民俗の意味」

対 象 者 一般

開催月日 令和2年6月21日(日)

講 師 小谷 竜介(東北歴史博物館学芸員)

会 場 当館講堂

第2回 演 題 「(仮) 再考・弥生文化—水稲単作史観を考える—」

対 象 者 一般

開催月日 令和2年9月12日(土)

講 師 浜田 晋介氏(日本大学教授)

会 場 当館講堂

第3回 演 題 「(仮) 近世の村の脅し鉄砲」

対 象 者 一般

開催月日 令和2年10月4日(土)

講 師 中西 崇氏(聖光学院中学校高等学校教諭)

会 場 当館講堂

##### ■学芸員講演会(会場:当館講堂 13:00～15:00 当日先着順)

各学芸員が専門分野について講演した。

※令和2年6月7日、7月12日、令和3年2月7日、2月28日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。また、参加人数の上限を通常の80名から38名とした。

開催月日	タイトル	講師	参加人数 (うち友の会会員)
令和2年 6月 7日(日)	「(仮) 郷土玩具について」	山田 尚彦	中止
7月12日(日)	「常盤平団地60年の生活史」	青木 俊也	中止
11月 1日(日)	「さまざまな御鹿狩資料」	富澤 達三	37人
11月22日(日)	「旧石器・縄文時代人と石の文化」	大森 隆志	32人(9人)
12月 6日(日)	「棺が語る古墳時代史」	小林 孝秀	31人(10人)
令和3年 2月 7日(日)	「北国からみた松戸の縄文時代」	西村 広経	中止
2月28日(日)	「戦国時代/松戸まわりの四方山噺(よもやまばなし)」	中山 文人	中止

## (2) 講座

(※講座の各回定員：30人、対象者：一般)

### ■古文書を読む（近世入門編）（会場：当館実習室） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

開催月日 令和3年1月9日（土）～3月6日（土）までの隔週土曜日（全5回）

講師 富澤 達三（当館学芸員）

### ■古文書を読む（近世中級編I）（会場：当館実習室） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

開催月日 令和2年9月19日（土）～11月14日（土）までの隔週土曜日（全5回）

講師 和泉 清司氏（高崎経済大学名誉教授）

### ■古文書を読む（近世中級編II）（会場：当館実習室） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

開催月日 令和3年1月10日（土）～3月7日（土）までの隔週土曜日（全5回）

講師 出口 宏幸氏（江東区文化財主任調査員）

### ■吾妻鏡を読む（会場：女性センターゆうまつど）

対象者 一般

開催月日 令和2年9月3日（木）～11月29日（木）までの隔週木曜日（全5回）

内容 吾妻鏡（北条本・国立公文書館蔵）の写真版を、寿永元（1182）年8月20日から11月20日まで解説・解説した。なお、定員75名の会場を使用した。

講師 中山 文人（当館学芸員）

応募人数 29人

参加人数 延べ119人

### ■松戸市パートナー講座 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

### ■その他講師派遣等

実施年月日	題名	主催者	派遣講師	場所	参加人数
令和2年 11月18日（日）	資料から探る御鹿狩（講座講師）	鎌ヶ谷市 郷土資料館	富澤 達三 （当館学芸員）	鎌ヶ谷市生涯学習 推進センター	25人

## (3) 体験学習

### ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて中止

#### ■こども体験教室「親も楽しむ 米作りと展示づくりー小学生学芸員になろう」

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
①令和2年5月9日（土）②6月13日（土） ③7月18日（土）④9月19日（土） ⑤10月3日（土）⑥11月7日（土） ⑦11月21日（土）	①～⑤ 9：30～12：00 ⑥～⑧ 9：30～15：00	小学4～6年 生と保護者の 方	青木 俊也 中山 文人 （当館学芸員）	—	中止
⑧令和3年1月30日（土）⑨2月13日（土）	⑨13：00～15：00				中止
内容：1年を通じて米作り作業を体験し、その成果を展示で発表する。					

■こども体験教室「親も楽しむ土鈴づくり」

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
令和2年8月1日(土)	① 10:00～11:00 ② 13:30～14:30	小学生と保護者の方 ※児童だけの参加も可	西村 広経 (当館学芸員)	—	中止
内容：粘土で縄文時代の鈴（土鈴）を作る。					

■こども体験教室「親も楽しむ勾玉づくり」

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
令和2年8月8日(土)	① 10:00～11:00 ② 13:30～14:30	小学生と保護者の方 ※児童だけの参加も可	西村 広経 (当館学芸員)	—	中止
内容：やわらかい石をみがいて勾玉（まがたま）を作る。					

■こども体験教室「自分でつくる糸と布 -紡ぐ・染める・織る・縫う-」〔全5回〕(友の会共催)

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第1日	令和2年 7月28日(火)	9:30～12:30、13:30～16:30	小学 3～6年生	青木 俊也 (当館学芸員) はたくさの会 (博物館友の 会サークル)	—	中止
第2日	7月30日(木)	9:30～11:30			—	中止
第3日	7月31日(金)	9:30～15:00			—	中止
第4日	8月4日(火)	9:30～15:00の間の各50分			—	中止
第5日	8月5日(水)	9:30～12:00			—	中止
内容：綿から糸を紡ぎ、草木で染めて織り、作品にする。						

■くらしのうつりかわり体験教室「桶を担いでみよう」

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
①令和3年1月23日(土)	13:10～16:00のあいだ、 随時体験可	小学生以上 ※児童だけの 参加も可	博物館友の会	—	中止
②2月6日(土)				—	中止
③2月20日(土)				—	中止
④3月6日(土)				—	中止
⑤3月20日(土・祝)				—	中止
内容：水道がなかったころ、水汲みに使われていた桶を実際にかついでみる。					

■くらしのうつりかわり体験教室「風呂敷を使ってみよう」

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
①令和3年1月30日(土)	13:10～16:00のあいだ、 随時体験可	小学生以上 ※児童だけの 参加も可	博物館友の会	—	中止
②2月13日(土)				—	中止
③2月27日(土)				—	中止
④3月13日(土)				—	中止
⑤3月27日(土)				—	中止
内容：今ではあまり使われなくなった風呂敷の包み方を体験する。					

■くらしのうつりかわり体験教室「機織りをしてみよう」

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
①令和3年2月27日(土)	13:10～16:00のあいだ、 随時体験可	小学生以上 ※児童だけの 参加も可	博物館友の会	—	中止
②3月13日(土)				—	中止
③3月27日(土)				—	中止
内容：高機で裂き織りを体験する。					

■くらしのうつりかわり体験教室「紙芝居と昔の遊びを楽しむ日」

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
令和3年2月28日(日)	11:00～15:30	こどもから大人まで	・紙芝居 峯岸 照恭氏 (大江戸 ヤッサン一座代表) ・昔の遊び 博物館友の会会員	—	中止
内容：紙芝居・けん玉・こま・お手玉など、昔のこどもたちの世界を再現し、体験する。					

(4) ミュージアムシアター・プレイルーム

■ミュージアムシアター

公共上映の権利を有する映像ソフトを、講堂において毎日・月替わりで定時上映した。ただし講演会等の開催時には、上映を中止した。

上映時間 午後1時15分、午後3時15分

※土日祝日の午後1時15分上映分は「キッズシアター」として、子ども向けプログラムを上映した。

※令和2年4月1日～7月9日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12月には屋上防水工事に伴う騒音のため、上映を中止または縮減した。

ミュージアムシアター

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1日平均
令和2年7月	今の世に平和を語り継ぐ(4) マリコ～平和を求め続けた三代の物語～	19	19	1
8月	The A-bomb ヒロシマで何が起こったか	26	46	2
9月	奇跡の映像 よみがえる100年前の世界5 市民たちの大戦	25	51	2
10月	司馬遼太郎と城を歩く 第7巻 清洲城・浜松城・丸岡城・佐賀城	27	111	4
11月	昭和30年代の日本・家族の生活 都会のくらし編 大都会の生活	24	67	3
12月	昭和30年代の日本・家族の生活 農村のくらし編 おばちゃんあやまる	13	29	2
令和3年1月	日本の味のルーツを探るシリーズ 第1集 京湯波をつくる～日本的乳(豆乳)文化の生成～	23	38	2
2月	昭和子どもキネマ 児童映画篇1 名探偵ヒロシ君	23	63	2
3月	奇跡の映像 よみがえる100年前の世界6 勝者と敗者	26	72	3
合計		206	496	2

土日祝日のキッズシアター

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1日平均
令和2年7月	アニメ「ふるさと再生日本の昔ばなし」より、そそのの相九郎、オンバの皮、いもころがし	9	28	3
8月	アニメ「ふるさと再生日本の昔ばなし」より、火男、ねずみのすもう、和尚と小僧のぷ〜ぷ〜ぱたぱた	11	13	1
9月	アニメ「ふるさと再生日本の昔ばなし」より、三つの斧、猿の婿どの、天狗と盗人	10	25	3
10月	アニメ「ふるさと再生日本の昔ばなし」より、屁ひり嫁、猫と茶釜の蓋、ちゃくりかきふ	9	7	1
11月	アニメ「ふるさと再生日本の昔ばなし」より、ねずみの嫁とり、小石の手紙、だんまりくらべ	9	19	2
12月	アニメ「ふるさと再生日本の昔ばなし」より、花さか爺さん、一寸法師、おむすびころりん	7	16	2
令和3年1月	アニメ「ふるさと再生日本の昔ばなし」より、夢を買った男、ねずみ経、牛の嫁入り	9	25	3
2月	アニメ「ふるさと再生日本の昔ばなし」より、八つ化け頭巾、ほれ薬、猿地蔵	10	68	7
3月	アニメ「ふるさと再生日本の昔ばなし」より、桃太郎、はちかつぎ姫、十二支のはなし	8	22	3
合計		82	223	3

■プレイルーム

年齢を問わず、いつでも来館者が楽しめる場所として無料で開放している。体験プログラムとして、①やってみようアンギン編み、②つくってみようコースター、③着てみようアンギン編みの服、④つかってみよう糸車の4種類を実施した。また、「常設展示ぬりえ！」を設け、こどもからおとなまで、誰でもぬりえを楽しんでもらえるようにしている。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、①～④は見学のみ（ぬりえは令和2年8月1日より再開）

(5) 館内公開

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

対象者 一般

開催月日 ①令和2年5月2日（土） ②令和2年8月2日（土）

内 容 博物館の多様な活動への理解を促進するため、通常非公開のバックヤード（車庫、荷解梱包室、燻蒸室、学芸員室、スタジオ、機械室、収蔵庫）を紹介・解説するもの。

(6) ガイドツアー（常設展示解説）

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、行っていない。

## (7) 情報提供

### ■閲覧コーナー

当館の購入図書及び関係諸機関との交換図書の閲覧サービスを行なっている。蔵書の一部は開架で提供している。

- ・蔵書数（令和3年3月31日現在）
  - 開架図書冊数 1,275 冊
  - 閉架図書冊数 41,357 冊
- ・閲覧コーナー利用者数（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
  - 利用人数 1,142 人（年間の1日平均利用者5.4人）
- ・閉架図書の利用状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
  - 利用人数 15 人
  - 利用冊数 33 冊
- ・視聴覚資料数（令和3年3月31日現在）
  - ビデオテープ 418 巻
  - CD 88 枚
  - DVD 48 枚

### ■刊行物

令和2年度の刊行物は次の通りである。

- ・松戸市立博物館年報 第27号
  - A4判72頁（本文71頁） 500部 令和2年9月25日
- ・松戸市立博物館紀要 第28号
  - A4判86頁（本文83頁） 800部 令和3年3月31日

### ■SNSによる情報発信

令和元年4月29日に当館公式Facebook、Twitter、Instagramを開設し、最新情報を発信している。

### ■動画公開

新型コロナウイルス蔓延を受けて、当館ホームページで企画展・野外展示・学習資料展の解説動画を公開した。

- ①「10分でわかる！令和2年企画展『松戸と徳川将軍の御鹿狩』」（解説：富澤 達三、令和2年10月21日より公開）
- ②「よくわかる！竪穴住居解説動画」（解説：西村 広経、令和2年12月24日より公開）
- ③「10分でわかる！令和2年度学習資料展 こどもミュージアム『松戸探検 90年前からのくらしのうつりかわり』」（解説：青木 俊也、令和3年2月25日より公開）

### ■おうちミュージアム

令和2年1月以降、日本でも新型コロナウイルスが蔓延し、全国の博物館が閉館となるなか、3月4日に北海道博物館の呼びかけで、家で長時間を過ごす子供たちのために全国の博物館が“おうちで楽しく学べる”アイデアをオンラインで提供する「おうちミュージアム」が始まった。当館も4月下旬から参加し、ホームページから情報発信を行った。

- ・第1弾 常設展示ぬりえ！（令和2年4月22日配信）
- ・第2弾 縄文土器ペーパークラフトに挑戦！（4月28日配信）
- ・第3弾 江戸時代の絵パズルを完成させよう！（5月4日配信）
- ・第4弾 オリジナルはんてんを作ろう！（5月13日配信）
- ・第5弾 ずぼんぼをつくってあそぼう！（館蔵資料展関連企画、6月4日配信）
- ・第6弾 図形パズルをつくってあそぼう！（館蔵資料展関連企画、6月5日配信）
- ・第7弾 郷土玩具を干支の順にならべてみよう（6月17日配信）
- ・第8弾 江戸時代ぬりえ！（企画展関連企画、10月30日配信）
- ・第9弾 まつどの江戸時代 村パズルを完成させよう！（企画展関連企画、11月5日配信）

■ミュージアムショップ

刊行物とミュージアムグッズを販売している。

※価格は税込

ミュージアムグッズ		
ジグソーパズル	5種類	各900円
	1種類	1,200円
絵はがき	8種類	各80円
テレフォンカード	4種類	各700円
埴輪ぬいぐるみキーホルダー (馬・人)	2種類	各350円
メモ帳		100円
虚無僧ストラップ(青・緑)	2種類	各750円
クリアファイル	3枚セット	100円
一筆箋	4種類	各300円
縄文土器レプリカ 深鉢型土器		10,000円
クリアファイル (コシッキー1体・3体)	2種類	各150円
ドンちゃんグリちゃん・じょう うちゃんもんちゃんシール		200円
小風呂呂敷(下総国小金乃原御 狩之図)		680円
ダイカットメモ(縄文・古墳)		各300円
手ぬぐい	2種類	各550円
不織布トート	3色	各150円
機織りハンドメイドポーチ		1,700円

資料集・報告書	
松戸市立博物館歴史資料集1 東漸寺所蔵資料目録	700円
松戸市立博物館歴史資料集2 青木源内家所蔵資料目録追加	700円
松戸市立博物館映像記録VTR 送り大師 東葛飾印旛大師講の人々	完売
松戸市立博物館報告書1 松戸の三匹獅子舞(VTR含む)	5,400円
松戸市立博物館報告書2 縄文時代以降の松戸の海と森の復元	1,200円
松戸市立博物館報告書3 松戸市民家調査報告書	完売
松戸市立博物館報告書4 松戸旧宿場町建築物調査報告書	2,100円
松戸市立博物館報告書5 農村松戸の民俗—1960年代調査の記録—	800円
松戸市立博物館報告書6 松戸市役所広報課旧蔵写真目録	900円

図録		
改訂版 常設展示図録(平成16年度)		完売
開設記念展 松戸写真館—カメラがとらえた 松戸の人々—(平成5年度)		完売
特別展 縄文土器の世界(平成5年度)		1,000円
企画展 救いの民俗—地獄極楽冥土の旅— (平成6年度)		完売
特別展 馬と牧—かつて松戸は牧場だった— (平成6年度)		完売
企画展 稲と魚—水田をめぐる漁・猟・採集— (平成7年度)		900円
特別展 古墳時代の飾り馬—馬利用のはじまり をさぐる—(平成7年度)		完売
企画展 小金城主高城氏(平成8年度(平成 13年度再版))		完売
特別展 シルクロードとガンダーラ (平成8年度)		1,500円
特別展 福神の世界(平成9年度)		完売
特別展 ネアンデルタール人の復活 (平成10年度)		1,000円
企画展 水戸道中—宿場と旅人— (平成10年度)		完売
特別展 貝塚を考える(平成10年度)		1,200円
企画展 戦後松戸の生活革新—新しい暮らし 方へのあこがれ—(平成12年度)		完売
企画展 中世の東葛飾—いのり・くらし・ま つりごと—(平成13年度)		1,200円
企画展 弥生人の脳発見!—とっとり青谷上 寺地遺跡展—(平成14年度)		完売
企画展 はにわの十字路—古代東国の交流と 地域性—(平成14年度)		1,000円
特別展 川の道 江戸川(平成15年度)		1,000円
企画展 昔のくらし探検<松戸版> (平成16年度)		500円
企画展 ペルシャ文明の曙—文明の基層を探 る—(平成17年度)		1,000円
企画展 戦国の城をさぐる—松戸市根本内歴 史公園開園記念—(平成18年度)		完売
企画展 大名の旅—本陣と街道— (平成19年度)		1,000円
特別展 縄文時代の東・西(平成20年度)		1,000円
企画展 人生儀礼の世界(平成21年度)		1,000円
企画展 湯浅喜代治 考古コレクション—夢 を追った70年—(平成22年度)		1,000円
企画展 東日本の古墳と渡来文化—海を越え る人とモノ—(平成24年度)		1,000円
特別展 松戸の発掘60年史—市内の遺跡を 再検討—(平成25年度)		1,000円
企画展 Plastic ? /Plastic ?—高度経済成長 とプラスチック—(平成26年度)		1,000円
企画展 石斧と人—3万年のあゆみ— (平成28年度)		800円
企画展 本土寺と戦国の社会(平成29年度)		900円
特別展 ガンダーラ—仏教文化の姿と形— (平成30年度)		1,000円
企画展 松戸と徳川将軍の御鹿狩 (令和2年度)		1,000円

紀要		
松戸市立博物館紀要 第1号		1,000円
松戸市立博物館紀要 第2号		1,000円
松戸市立博物館紀要 第3号		1,000円
松戸市立博物館紀要 第4号		700円
松戸市立博物館紀要 第5号		1,000円
松戸市立博物館紀要 第6号		1,000円
松戸市立博物館紀要 第7号		1,000円
松戸市立博物館紀要 第8号		1,000円
松戸市立博物館紀要 第9号		1,000円
松戸市立博物館紀要 第10号		1,000円
松戸市立博物館紀要 第11号		500円
松戸市立博物館紀要 第12号		500円
松戸市立博物館紀要 第13号		400円
松戸市立博物館紀要 第14号		500円
松戸市立博物館紀要 第15号		500円
松戸市立博物館紀要 第16号		600円
松戸市立博物館紀要 第17号		500円
松戸市立博物館紀要 第18号		500円
松戸市立博物館紀要 第19号		400円
松戸市立博物館紀要 第20号		500円
松戸市立博物館紀要 第21号		600円
松戸市立博物館紀要 第22号		500円
松戸市立博物館紀要 第23号		400円
松戸市立博物館紀要 第24号		300円
松戸市立博物館紀要 第25号		400円
松戸市立博物館紀要 第26号		500円
松戸市立博物館紀要 第27号		500円

松戸市史		
松戸市史 上巻		完売
松戸市史 上巻(改訂版)「原始・古代・中世」		3,000円
松戸市史 中巻「近世」		5,500円
松戸市史 下巻(一)「明治」		4,000円
松戸市史 下巻(二)「大正・昭和」		3,900円
松戸市史史料編(一)「大熊家文書」		2,800円
松戸市史史料編(二)「近世諸家文書」		完売
松戸市史史料編(三)「萬満寺史料」		3,500円
松戸市史史料編(四)「本土寺史料」		5,500円
松戸市史史料編(五)上「秋谷家文書」		8,050円
松戸市史史料編(五)下「秋谷家文書」		7,500円
松戸市史史料編(六)「東漸寺史料」		5,000円
松戸市古文書目録(一)「諸家文書」		1,100円
松戸市古文書目録(二)「諸家文書」		1,500円
松戸市古文書目録(三)「本土寺文書他」		2,000円
松戸市古文書目録(四)「秋谷家文書」		2,500円
松戸市史考古資料集1 大谷口遺跡の土師器と須恵器		300円
松戸市史考古資料集2 千駄堀寒風台遺跡出土遺物を中心とする 考古資料		300円
松戸市史考古資料集3 関場遺跡第2地点出土旧石器資料報告・ 寒風台遺跡出土石器再整理報告		300円
松戸市史考古資料集4 上本郷遺跡出土の縄文時代後期から晩期 を中心とする考古資料		400円

## 4 連携事業

### (1) 博学連携プログラム

#### ①受入

##### ■博物館実習

令和2年度博物館実習生

班	所属
第1班	淑徳大学 人文学部歴史学科、4年
	二松学舎大学 科目等履修生
	筑波大学 人文・文化学群人文学類、4年
	東京女子大学 現代教養学部人文学科、4年
第2班	東京成徳大学 人文学部日本伝統文化学科、4年
	上智大学 文学部国文学科、4年
	日本女子大学 文学部史学科、4年
	八洲学園大学 生涯学習学部生涯学習学科、4年

#### (1) 合同実習

月日	午前	午後
7月26日(日)	実習内容説明、館内バックヤード見学	常設・企画展示見学

#### (2) 個別実習

※例年、個別実習の期間は6日間であるが、新型コロナウイルス蔓延防止のため今年は4日間とした。

第1班 令和2年7月30日(木)～8月2日(日)

月日	午前	午後
7月30日(木)	写真資料整理	同左
7月31日(金)	松戸市戸定歴史館見学	流山市立博物館見学
8月1日(土)	地域博物館の在り方研究	同左
8月2日(日)	地域博物館の在り方研究(発表)	まとめ・レポート作成

第2班 令和2年8月6日(木)～8月9日(水)

月日	午前	午後
8月6日(木)	松戸市戸定歴史館見学	流山市立博物館見学
8月7日(金)	写真資料整理	同左
8月8日(土)	地域博物館の在り方研究	同左
8月9日(日)	地域博物館の在り方研究(発表)	まとめ・レポート作成

##### ■教員・生徒の職場研修・職場体験学習の受け入れ

例年、博物館の活用等を目的とした教員対象の体験研修、児童・生徒の勤労観・社会観を育成するための職場体験学習他を行ってきたが、本年度は新型コロナウイルス蔓延の影響もあり、下記の1件にとどまった。

学校名	受入数	受入年月日
馬橋北小学校	教員1名	令和2年8月13日・14日

## ②派遣

### ■出前授業

市内の小学校・中学校を対象とし、当該校からの要請に応え、博物館学芸員及び学習支援専門員が、通常の授業の中でゲストティーチャーとして指導・支援を行った。

#### ・常盤平第一小学校

対象者 小学6年生 37人

開催日時 令和2年10月21日(水) 10:30～12:00

内容 「常盤平の歴史を考える」というテーマで、徳川将軍の御鹿狩について授業を行った。

講師 富澤 達三(当館学芸員)、綿貫 貴(当館学習支援専門員)

#### ・専修大学松戸中学校

対象者 中学2年生 162人、および教員8人

開催日時 令和3年1月30日(土) 10:30～11:30

内容 当館所蔵の中世古文書から、関東・東海の大事件について講義した。

講師 中山 文人(当館学芸員)

## ③事業

### ■博物館でアート

対象者 ①小学校4～6年生(定員10名) ②中学生(定員10名) ③成人(定員10名)

開催日時 ①令和2年8月19日(水)、11月15日(日) 13:30～15:30

②令和2年8月20日(木) 13:30～15:30

③令和2年11月21日(土) 13:30～15:30

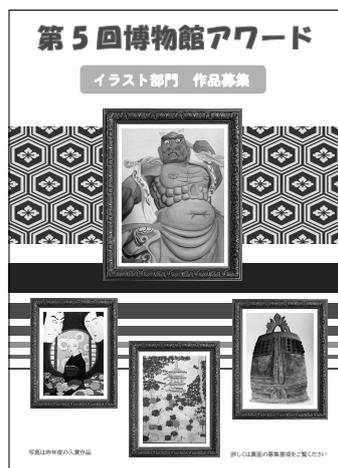
内容 色えんぴつでのテクニックをマスターして、アートな作品を作った。

講師 学習支援専門員

参加人数 ①合計20人 ②合計7人 ③合計6人

### ■第5回博物館アワード

趣 旨 博学連携の一環として、博物館の機能ならびに環境を生かしたコンクールを開催することにより、児童生徒の博物館に対する理解を深めるとともに、博物館の積極的な活用を推進する機会とする。



募集概要 (1) 募集内容並びに募集対象者

①歴史に関する自由研究部門

- ・小学生中学年の部、小学生高学年の部、中学生の部、高校生の部

②歴史に関するイラスト部門

- ・小学生中学年の部、小学生高学年の部、中学生の部

(2) 募集期間

- ・令和2年9月1日(火)～9月30日(水) 必着

(3) 表彰

- ①自由研究部門各部の最優秀作品の中から市長賞1点、教育長賞1点、博物館長賞1点、さらに9点が優秀賞。その他38点が佳作。
- ②イラスト部門各部最優秀作品の中から市長賞1点、教育長賞1点、博物館長賞1点、さらに9点が優秀賞。その他23点が佳作。

応募点数

	小学生中学年	小学生高学年	中学生	高校生	合計
自由研究部門	31	45	124	2	202
イラスト部門	33	56	142		231

応募校数

- ・自由研究部門 27校
- ・イラスト部門 31校

■第5回博物館アワード作品展

展示意図 第5回博物館アワード(歴史自由研究、歴史イラスト部門)に応募した小中学生、高校生の入賞・入選作を展示した。

主催 松戸市立博物館

会期 令和2年12月1日(火)～20日(日)

会場 松戸市立博物館 企画展示室

観覧料 無料

作品数 自由研究部門 50点

イラスト部門 173点



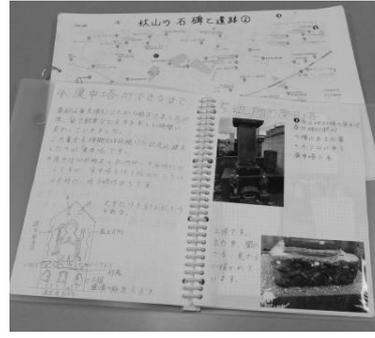
自由研究部門 市長賞  
「松戸いろはかるた～身近な松戸を再発見 with コロナ」  
(第六中学校 2年)



イラスト部門 市長賞  
「夢見る昭和の女の子」  
(和名ヶ谷中学校 2年)



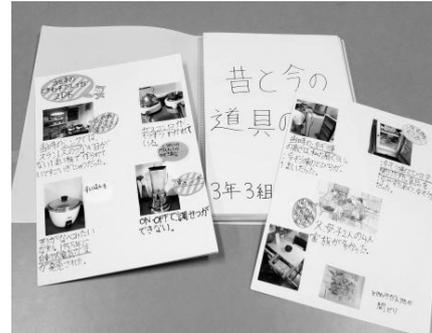
イラスト部門 教育長賞  
「昔と今の土偶」  
(上本郷第二小学校 4年)



自由研究部門 教育長賞  
「秋山の石碑と遺跡」  
(東部小学校 6年)



イラスト部門 博物館長賞  
「三匹獅子舞の自撮り」  
(馬橋北小 6年)



自由研究部門 博物館長賞  
「昔と今の道具の進化」  
(高木第二小学校 3年)

## (2) その他

### ■千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会向け展示解説会 (ナイトミュージアム)

連携対象 千葉県教育研究会松戸支会、社会科教育部会

開催月日 令和2年9月30日(水) 18:30～19:30

内 容 千葉県教育研究会社会科部会の松戸市内小中学校教員有志に対し、企画展「松戸と徳川將軍の御鹿狩」の解説をロビーで行ったのち、密を避けるため班ごとに間隔を空けて展示見学を行った。

参加人数 42人 (小学校関係者28人、中学校関係者14人)

### ■「ゲットユアドリーム」事業への協力

連携対象 松戸市子どもわかもの課「ゲットユアドリーム」事業

開催月日 ①令和2年12月15日(火) 10:00～12:30 松戸市立第三中校

②令和3年1月15日(金) 12:50～15:20 松戸市立旭町中学校

③令和3年2月9日(金) 12:30～14:30 松戸市立新松戸南中学校

内 容 「ゲットユアドリーム」事業で、中学校へ学芸員3名を派遣し、博物館学芸員の仕事や経験に関する講義を行った。

講 師 ①小林 孝秀 ②富澤 達三 ③中山 文人

参加人数 延べ73人 (①25人②22人③26人)

## 5 調査・研究

### (1) 松戸市古文書調査（委託）

博物館における展示の基礎資料を得るため、平成2年度より古文書調査団を組織し、一時中断をはさみ、平成30年度の第26次の調査から渡辺尚志氏（一橋大学教授）を団長として再開した。今年度（第28次）は新型コロナウイルスの影響のため、事業を大幅に縮小することとなり、松戸市幸谷（旧幸谷村）の酒井家文書の分析と、重要文書29点の解読作業をおこなった。

### (2) 研究員の活動

「松戸市立博物館研究員設置要項」に則り、研究員を委嘱した。

**柴田 徹**（有限会社 考古石材研究所）

研究テーマ「坂之台遺跡出土石器・礫の石材再鑑定」

成果：坂之台遺跡出土旧石器及び礫群構成礫の岩石種を実体顕微鏡を用いて再鑑定した。その結果の一部（旧石器の岩石種）を『松戸市立博物館紀要』第28号に掲載した。

### (3) 学芸員の活動

**中山 文人** 専門分野：日本中世史

研究テーマ：「関東中世史の研究」

[年間活動]

- ・ 講座講師「吾妻鏡を読む」（全5回、令和2年9月3日～10月29日の隔週木曜）

[外部機関等協力活動]

- ・ 千葉県博物館協会調査研究委員会委員

[所属学会]

千葉城郭研究会、歴史学研究会、地方史研究協議会

[執筆]

- ・（共著）「史料紹介 高城忠雄家文書目録」『松戸市立博物館紀要』第28号（令和3年3月31日）

**青木 俊也** 専門分野：民俗学

研究テーマ「戦後生活史展示の研究」「葬墓習俗の研究」

[年間活動]

- ・ 学習資料展こどもミュージアム「松戸探検 90年前からのくらしのうつりかわり」担当（令和3年1月20日～3月31日）

[外部機関等協力活動]

- ・ 神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科非常勤講師「博物館民俗資料学特論」「博物館歴史資料学特論」（令和2年9月1日～令和3年3月31日）

[所属学会]

日本民俗学会、群馬歴史民俗研究会

**富澤 達三** 専門分野：日本近世史・歴史民俗資料学  
研究テーマ：「図像資料による江戸後期から明治初頭の常民文化の研究」「動物から探る松戸の近世」

[年間活動]

- ・企画展「松戸と徳川将軍の御鹿狩」担当（令和2年9月26日～11月15日）
- ・講演会講師 学芸員講演会「さまざまな御鹿狩資料」（令和2年11月1日）

[外部機関等協力活動]

- ・神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料センター、研究協力者（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

[執筆]

- ・「お江戸のキャラクター 幕末風刺画の「判じ物」から「戯画物」への転換」地方史研究協議会編『日本の歴史を解きほぐすー地域資料からの探求』文学通信（令和2年4月30日）

[所属学会]

地方史研究協議会、関東近世史研究会、明治維新史学会、日本民俗学会、国際浮世絵学会、日本風俗史学会

**小林 孝秀** 専門分野：日本考古学・東アジア考古学  
研究テーマ：「古墳時代東国社会の研究」「古代東アジア交流史の研究」

[年間活動]

- ・講演会講師 学芸員講演会「棺が語る古墳時代史」（令和2年12月6日）

[外部機関等協力活動]

- ・駒澤大学文学部非常勤講師「歴史学（日本考古学）」（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
- ・専修大学文学部非常勤講師「日本史 a（前期）・日本史 b（後期）」（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

[執筆]

- ・「つくば市西栗山遺跡出土の多孔式甗ー渡来系資料の評価をめぐる視点ー」駒澤大学考古学研究室編『生産の考古学』Ⅲ、酒井清治先生古稀記念、六一書房（令和2年12月10日）
- ・「횡혈식석실 도입으로 본 동일본과 가야 (横穴式石室の導入から見た東日本と加耶)」『유라시아 고고와 문화 (ユーラシアの考古と文化)』慶北大學校考古人類學科 40 周年記念論叢、慶北大學校考古人類學科（訳：鄭仙雲）（2020年12月31日）
- ・「石室、石棺から金鈴塚古墳の主に迫る」金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業公開シンポジウム『金鈴塚古墳の主に迫る 記録集』木更津市教育委員会（令和3年2月26日）
- ・「横穴式石室から見た常陸の動向と特質」『古代文化』第72巻第4号、特輯 常陸の古墳文化 下、(公財)古代学協会（令和3年3月30日）

[所属学会]

日本考古学協会、日本考古学会、考古学研究会、古代学協会、東北・関東前方後円墳研究会、中四国前方後円墳研究会、茨城県考古学協会、埴輪研究会、専修大学歴史学会、多久那研究会

**西村 広経** 専門分野：先史考古学  
研究テーマ：「縄文時代後期中葉土器群の研究」「先史時代における社会複雑化過程の研究」

[執筆]

- ・「北海道島における縄文時代後期中葉の土器編年」『古代』第148号（令和3年3月31日）
- ・「加曾利 B2 式斜線文土器の施文具」『松戸市立博物館研究紀要』第28号（令和3年3月31日）

- ・「東カマド」熊木俊朗編『アイヌ文化形成史上の画期における文化接触：擦文文化とオホーツク文化―大島2遺跡の研究(2)―』東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設(令和3年3月31日)

[所属学会]

考古学研究会、青森県考古学会、早稲田大学考古学会

**大森 隆志** 専門分野：考古学

研究テーマ：「中世地下式坑の考古学的研究」

[年間活動]

- ・講演会講師 学芸員講演会「旧石器・縄文時代人と石の文化」(令和2年11月22日)

[執筆]

- ・共著「松戸市坂之台遺跡(第2地点)の旧石器石材の再検討―構成岩石種と産地の推定―」『松戸市立博物館紀要』第28号(令和3年3月31日)

[所属学会]

日本考古学協会、縄文時代文化研究会、山梨県考古学協会、文化経済学会〈日本〉、日本アートマネジメント学会

**山田 尚彦** 専攻分野：日本民俗学・文化人類学

研究テーマ：「地域社会における民俗芸能の継承と葛藤に関する研究」

「近代知識の大衆化に関する歴史社会学的研究」

[年間活動]

- ・館蔵資料展「郷土玩具 人と動物のかたち」担当(令和2年6月2日～6月21日)

[執筆]

- ・(分担執筆)「プラスチック製品」『民具学事典』丸善出版株式会社(令和2年4月15日)

[外部機関等協力活動]

- ・千葉大学非常勤講師「博物館資料論A」(令和3年2月1日～令和3年3月31日)

[所属学会]

日本文化人類学会、日本民具学会、相模民俗学会、文化資源学会、日本写真学会、メディア史研究会、文化財保存修復学会

## 6 資料の収集と利用

### (1) 資料の収集

#### 一次資料収集

##### 受贈

- ・土屋 政子 様 「近代土地関係資料」 92 点
- ・西川 武雄 様 吉野金陵撰「坂川治水期」(慶応2年) ほか 11 点
- ・山口 博子 様 「小文箱(常磐線電化記念)」 1 点

##### 寄託

- ・上本郷獅子講中 様 「上本郷獅子講中史料」 528 点  
「上本郷獅子舞 獅子頭羽根飾り」 3 点
- ・石井 正人 様 「石井包人家文書」 1227 点

#### 二次資料収集

受贈図書 108 冊

購入図書 113 冊

交換図書 577 冊

図書交換機関等 348 ヶ所

購入逐次刊行物 39 タイトル

受贈及び交換逐次刊行物 251 タイトル

**(2) 博物館資料の貸出** (令和2年4月1日～令和3年3月31日申請分)

No.	貸出期間	借用者	利用形態	目的	貸出資料・点数
1	令和2年6月23日～12月15日	千葉県立中央博物館	資料貸出	企画展「ちばの縄文 貝塚からさぐる縄文人の暮らし」で展示するため	幸田貝塚出土品(重要文化財) 31点
2	令和2年6月17日～令和3年3月19日	公益財団法人千葉県教育振興財団文化財センター	資料貸出	令和2年度出土遺跡公開事業「北方交流録」で展示するため	彦八山遺跡出土剥片石器 1点
3	令和2年11月15日～令和3年3月31日	千葉市立加曽利貝塚博物館	資料貸出	企画展「あれもE これもE -加曽利E式土器(北西部地域編)-」で展示するため	子和清水貝塚355号土坑出土土器ほか12点

**(3) 博物館資料の特別利用** (令和2年4月1日～令和3年3月31日申請分)

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
1	令和2年6月25日	個人	写真利用	池田20世紀美術館「小川忠博写真展『縄文』祈りの造形」でのパネル展示・図録等掲載のため	幸田貝塚出土土器1点
2	5月1日	個人	実測図掲載	『土曜考古』第42号に掲載するため	河原塚1号墳出土鉄鏃1点
3	6月5日	(株) イースト・エンターテインメント	写真利用	TV番組「たけしのニッポンのミカタ!」にて使用	復元団地展示1点
4	7月15日	千葉県立中央博物館	写真利用	令和2年度企画展「ちばの縄文」でのパネル展示・図録等掲載のため	幸田貝塚出土品1点
5	7月28日	(株)パイ・インターナショナル編集部	印刷物のデータ利用	『図形で魅せる 広告レイアウトデザイン』に掲載するため	館蔵資料展「郷土玩具 人と動物のかたち」ポスター1点
6	8月23日	松戸よみうり新聞社	写真利用	「松戸よみうり」第851号に掲載するため	横須賀出土丸木舟など3点
7	9月13日	個人	写真撮影・利用	自由民権運動研究のため	「大川五兵衛文書」No.350
8	9月15日	千葉市教育委員会	写真利用	千葉市動物公園科学館、考古学コーナーの写真パネルに使用するため	寛政七年小金原御鹿狩絵図1点
9	9月20日	松伏町教育委員会	写真利用	『松伏町史 資料編 原始・古代・中世』に掲載するため	『本土寺文書』永禄9年2月上杉輝虎老臣制札1点
10	9月20日	松戸よみうり新聞社	写真利用	「松戸よみうり」第852号の記事をHPへ転載するため	横須賀出土丸木舟など3点
11	9月21日	千葉市加曽利貝塚博物館	調査	企画展「あれもE これもE」事前調査のため	子和清水貝塚355号土坑出土土器など13点
12	9月27日	松戸よみうり新聞社	写真利用	「松戸よみうり」第853号に掲載するため	松戸覚之助(肖像)など写真6点
13	10月12日	松戸よみうり新聞社	写真利用	「松戸よみうり」第853号の記事をHPへ転載するため	松戸覚之助(肖像)など写真5点
14	10月16日	松戸よみうり新聞社	図版利用	「ブリッジ」令和2年10月号に掲載するため	根木内城測量図1点(『松戸市史上巻 改訂版』)からの転載
15	10月17日	個人	写真利用	調査研究のため	旧石器時代石器(湯浅喜代治考古コレクション)など2点
16	10月20日	歴×トキ	写真利用	御城印作成のため	千葉胤富書状1点
17	10月20日	個人	写真利用	金ヶ作村の研究のため	松戸市旧和紙公図27点

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
18	10月22日	鳥取二十世紀梨記念館	写真利用(転載)	二十世紀梨について特集したTV番組にて使用するため	松戸覚之助肖像(『はばたけ二十世紀梨』よりの転載)1点
19	10月25日	松戸よみうり新聞社	写真利用(再掲載)	「松戸よみうり」第854号の記事に掲載するため	松戸の河岸復元模型1点
20	10月30日	個人	写真利用	道路等の調査のため	松戸市旧和紙公図2点
21	11月5日	千葉市加曽利貝塚博物館	写真撮影	企画展「あれもE これもE」のリーフレットに掲載するため	子と清水貝塚355号土坑出土器ほか12点
22	11月14日	千葉市加曽利貝塚博物館	写真利用	企画展「あれもE これもE」のリーフレットに掲載するため	子と清水貝塚出土土器写真ほか25点
23	12月18日	株式会社かみゆ	写真利用	『テーマ別だから理解が深まる日本史』に掲載するため	幸田深鉢形土器写真1点
24	令和3年1月5日	土浦市立博物館	写真利用	展示解説パネルに使用するため	伸子張1点
25	1月6日	株式会社テレビ東京	写真利用	「家、ついて行ってイイですか?」にて使用するため	新角ビル写真1点
26	1月13日	千葉県教育庁教育振興部文化財課	写真利用	『千葉県内縄文時代集落・貝塚詳細分布調査報告書』に掲載するため	幸田貝塚203号住居跡貝層堆積状況写真ほか2点
27	1月19日	株式会社ボリュウムゼロ	撮影・写真利用	『中学校国語デジタル教科書』に収録するため	常設展示「常盤平団地の誕生」部分
28	2月1日	(有)オフィス・イデオム	写真利用	電子書籍『学研まんが New日本の歴史』に掲載するため	常盤平団地の居間1点
29	2月28日	株式会社名古屋東通企画	写真利用	『データで解析 サンデージャーナル』に掲載するため	松戸市立博物館外観など7点
30	2月28日	株式会社日企	写真利用	「ザ!鉄腕DASH!!」にて使用するため	古ヶ崎の田植え風景(『松戸市の昭和』より転載)1点
31	3月10日	名鉄観光サービス株式会社	写真利用	インターネットツアー「専用タクシーで行く」で使用するため	常設展示「常盤平団地の誕生」部分3点
32	3月10日	個人	調査	奥井コレクション(ペルシア陶器)調査のため	奥井コレクション81点
33	3月19日	株式会社ビッグベアカンパニー	動画撮影・使用	「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ!!」にて使用するため	二十世紀梨関連資料
34	3月27日	サークル高砂第一工廠	調査・写真利用	北総鉄道と沿線の調査研究、会報に掲載するため	松戸市役所広報課旧蔵写真40点
35	3月31日	個人	図版利用	『市史研究いちかわ』12号に掲載するため	旧石器時代の石器1点(下総史料館『かみしき』13号より転載)
36	4月1日	NHKエデュケーショナル	写真利用	『美術2・3下 教師用指導書 指導者用デジタル教材』に掲載するため	日曜美術館「縄文“美”の発見」(2018.7.22放映)(幸田貝塚出土土器放映部分)
37	4月末	NHK千葉放送局	写真利用	「青天を歩け 千葉編 第2シーズン」に掲載するため	「千代田之御表 小金原牧狩之図」など3点
38	5月22日	テレビ朝日映像株式会社	写真利用	「人生の楽園」にて使用するため	「明治期の松戸町」(森山信男氏所蔵写真)のデータ1点
39	10月1日	取手市教育委員会	写真利用	『取手市史 追補編』に掲載するため	常磐線松戸・取手間に運行されたガソリンカー1点

#### (4) 資料の燻蒸等

##### [展示室燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする密閉燻蒸を行った。

期 間：令和2年6月22日（月）～6月29日（月）

対 象：総合展示室、主題展示室、企画展示室

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：酸化プロピレン（商品名アルプ）

##### [企画展資料燻蒸]

殺虫・殺卵を目的とする包み込み燻蒸を行った。

期 間：令和2年11月24日（火）～12月9日（水）

対 象：剥製ほか

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：炭酸ガス（二酸化炭素）

##### [燻蒸庫燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする燻蒸を行った。

期 間：令和3年2月4日（木）～2月6日（土）

対 象：歴史資料、考古資料、書籍

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：酸化プロピレン（商品名アルプ）

##### [野外展示・復元竪穴住居]

殺虫を目的とする駆除作業を行った。

期 間：令和2年6月25日（木）～6月26日（金）

対 象：復元竪穴住居3棟

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：フェノトリン炭酸製剤（商品名ミラクンS）

## 7 令和2年度 資料展・企画展アンケート結果

### ■調査方法と設問内容

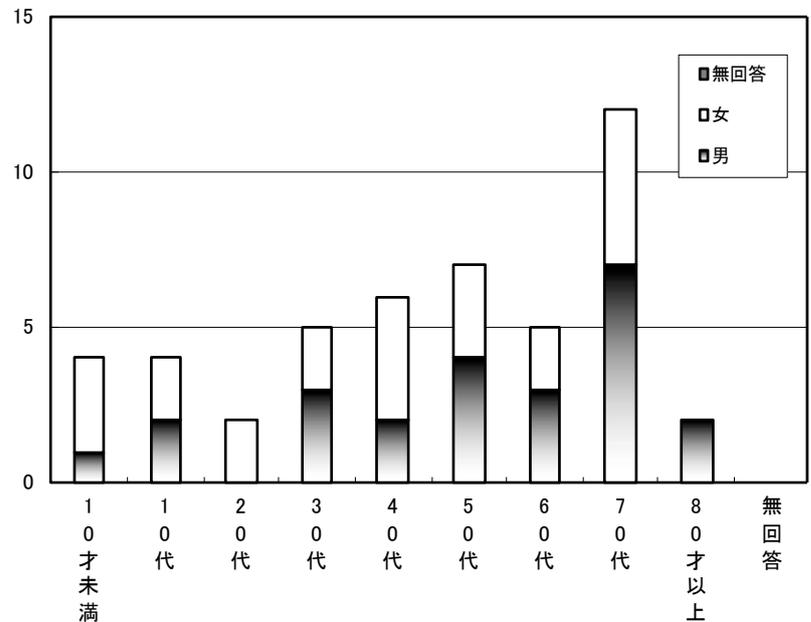
調査は、アンケート用紙をそれぞれ、企画展示室前ロビー（企画展アンケート）に置き、記入を利用者の任意に任せた調査票自己記入式で行った。

各アンケートに共通する設問は、回答者の性別、年齢、住所、来館回数、博物館に関する情報をどうやって入手したか、交通手段、職業、行動グループ、展示についての印象・感想である。以下、回答者の傾向を端的に示した「性別」と「年齢」のクロス集計、及び「来館回数」、「満足度」という計3項目の結果をとりあげる。

### (1) 館蔵資料展「郷土玩具 人と動物のかたち」

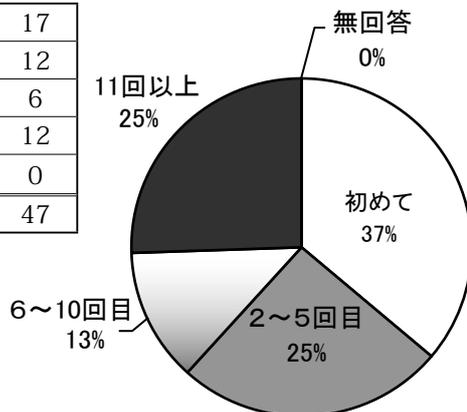
- 観覧者数 694人
- アンケート有効回答者数 47件（回答率 6.8%）
- 調査期間 令和2年4月25日（水）～令和2年6月28日（日）
- アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	1	3	0	4
10代	2	2	0	4
20代	0	2	0	2
30代	3	2	0	5
40代	2	4	0	6
50代	4	3	0	7
60代	3	2	0	5
70代	7	5	0	12
80才以上	2	0	0	2
無回答	0	0	0	0
計	24	23	0	47



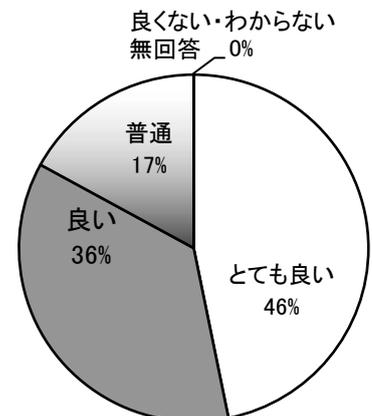
### ■来館回数（件）

初めて	17
2～5回目	12
6～10回目	6
11回以上	12
無回答	0
計	47



### ■回答者の満足度（件）

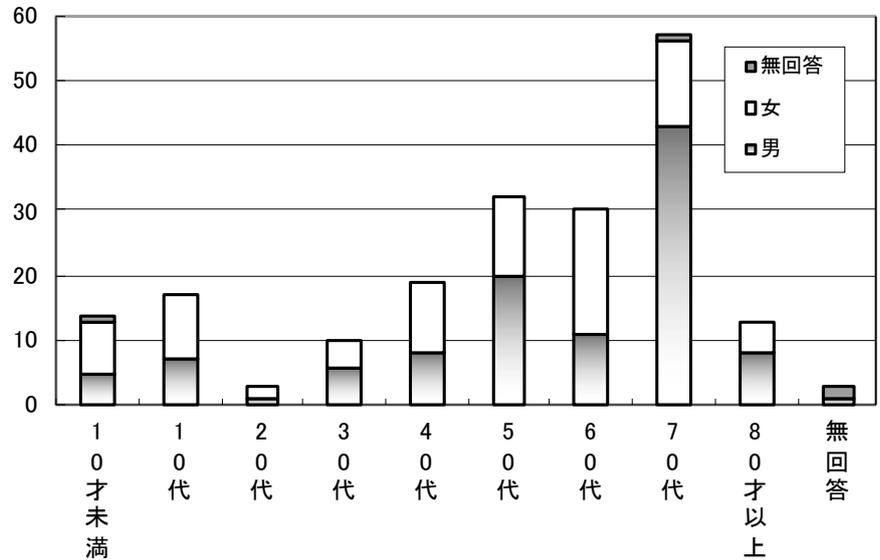
展示について	
とても良い	22
良い	17
普通	8
良くない	0
わからない	0
無回答	0
計	47



## (2) 企画展「松戸と徳川将軍の御鹿狩」

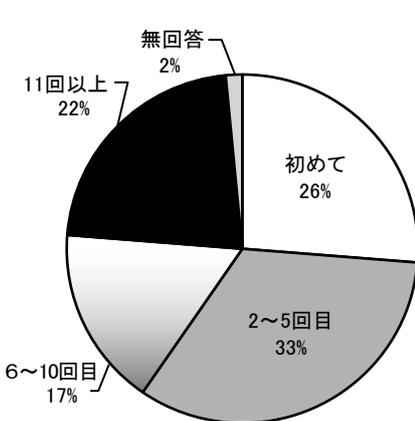
- 観覧者数 4,671 人
- アンケート有効回答者数 198 件 (回答率 4.2%)
- 調査期間 令和2年9月26日(土)～令和2年11月15日(日)
- アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	5	8	1	14
10代	7	10	0	17
20代	1	2	0	3
30代	6	4	0	10
40代	8	11	0	19
50代	20	12	0	32
60代	11	19	0	30
70代	43	13	1	57
80才以上	8	5	0	13
無回答	1	0	2	3
計	110	84	4	198



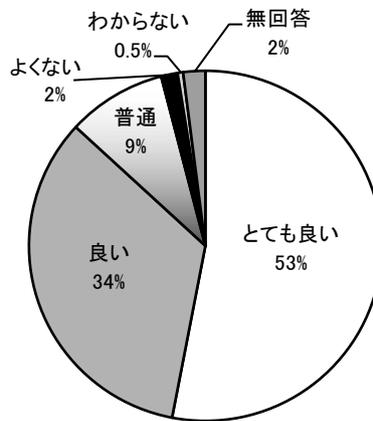
■来館回数 (件)

初めて	52
2～5回目	66
6～10回目	33
11回以上	44
無回答	3
計	198



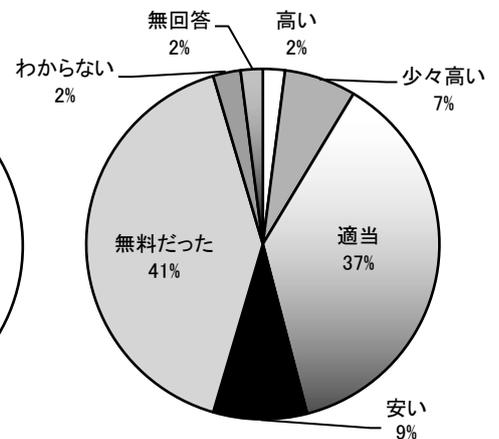
■回答者の満足度(件)

展示について		件数
とても良い	105	
良い	67	
普通	18	
よくない	3	
わからない	1	
無回答	4	
計	198	



■観覧料について(件)

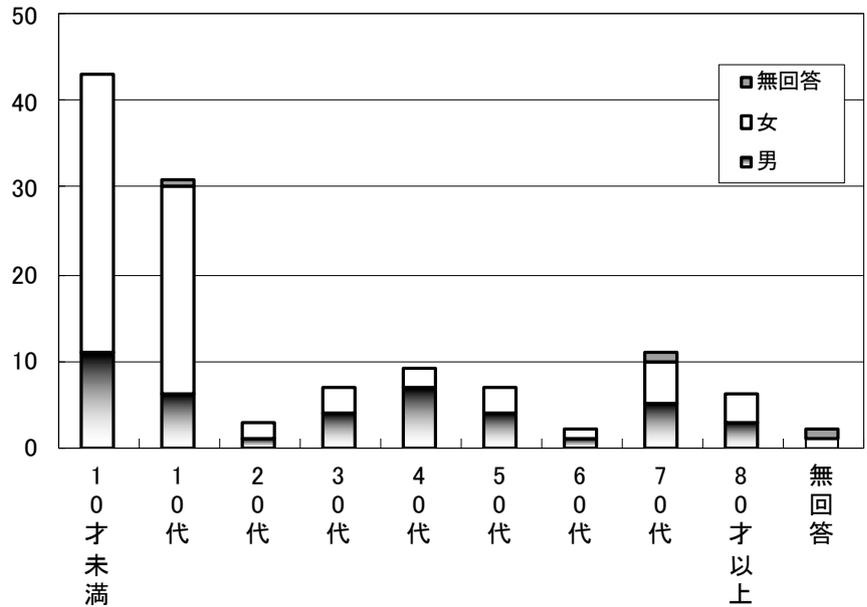
高い	4
少々高い	13
適当	74
安い	17
無料だった	81
わからない	5
無回答	4
計	198



### (3) 学習資料展「松戸探検 90年前からの暮らしのうつりかわり」

- 観覧者数 4,159人
- アンケート有効回答者数 121件（回答率2.9%）
- 調査期間 令和3年1月20日（水）～令和3年3月31日（水）
- アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	11	32	0	43
10代	6	24	1	31
20代	1	2	0	3
30代	4	3	0	7
40代	7	2	0	9
50代	4	3	0	7
60代	1	1	0	2
70代	5	5	1	11
80才以上	3	3	0	6
無回答	0	1	1	2
計	42	76	3	121

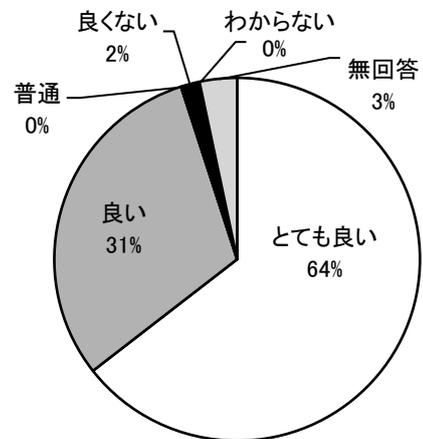
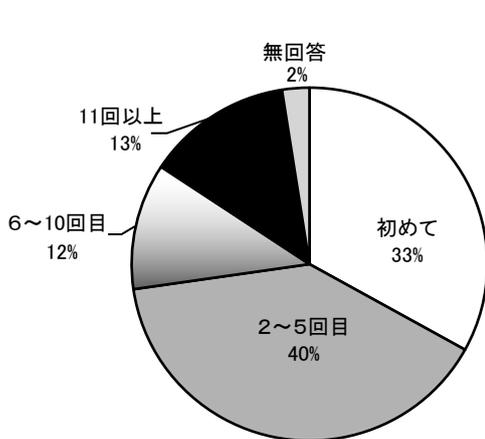


■来館回数（件）

初めて	40
2～5回目	48
6～10回目	14
11回以上	16
無回答	3
計	121

■回答者の満足度（件）

展示について	
とても良い	78
良い	37
普通	0
よくない	2
わからない	0
無回答	4
計	121



## 8 新型コロナウイルス感染症への対応

2019年（令和元年）12月に確認された新型コロナウイルス感染症は世界各国で感染が拡大し、社会と経済に大きな影響をもたらした。日本政府は2020年2月25日に「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を示し、当館においても感染防止対策として、手洗い・消毒・マスク着用などに努めた。なお感染拡大防止の観点から、当館は3月3日から31日まで臨時休館の対応を行った。

以下では、2020（令和2）年度内の当館でのコロナ禍への対応を記す。なお、個々の講座・講演会等の実施・中止については別に記した。

2020（令和2）年

・4月1日

館活動は再開したが、学校等の団体見学を中止するなどの利用制限を行った。

・4月7日

国より千葉県を含む7都府県を対象に「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発令。千葉県の緊急事態措置を受け、4月8日に松戸市は「緊急事態宣言の発令に伴う市の対応方針について」を示した。これを受けて市内の社会教育施設は休止となり、当館も臨時休館となった（4月8日～5月31日）。

・4月9日

職員の2班体制によるテレワークを導入（～5月24日まで）

・4月13日

緊急事態宣言の対象が全国に拡大される。

・4月22日

おうちミュージアム第1弾、「常設展めぐりえ」のWeb配信を開始

※おうちミュージアムは、家で長時間を過ごす子供たちのため、全国の博物館が“おうちで楽しく学べる”アイデアを、オンラインで提供する取り組みである。3月4日に北海道博物館の呼びかけで開始。

・4月28日

おうちミュージアム第2弾、「縄文土器ペーパークラフトに挑戦！」をWeb公開

・5月4日

緊急事態宣言が延長される。

おうちミュージアム第3弾、「江戸時代の絵パズルを完成させよう」（2種類）をWeb公開

・5月13日

おうちミュージアム第4弾、「オリジナルはんでんを折ろう！」を公開

公益財団法人日本博物館協会ホームページで「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」が出される（5月25日、9月18日に改訂）。

・5月25日

緊急事態宣言が解除となる。

・6月2日

博物館活動再開（展示室・実習室・プレイルーム〔見学のみ〕）。入場者上限は総合展示室66人、主題展示室16人まで。館蔵資料展「郷土玩具―人と動物のかたち―」は会期を6月2日～21日とし、開催した。解説員はフェイスガードを着用し、展示解説は中止した。

※館の再開に向けた取り組みとして、密閉・密集・密接を避けるため、利用者に対して検温・健康管理チェックシートの記入・手洗い・消毒・マスク着用・人との十分な距離の確保、また室内換気など感染拡大予防のための新しい生活様式を徹底するよう努めた。館内で多くの人が触れる箇所（ドアノブ、手すり、洗面所）は1日1回以上消毒を行い、人と人の対面がある受付と図書コーナーにはアクリル板を

設置した。

- ・6月4日  
おうちミュージアム第5弾、館蔵資料展「郷土玩具」関連企画、「ずぼんぼをつくってあそぼう！」を Web 公開
- ・6月5日  
おうちミュージアム第6弾、館蔵資料展「郷土玩具」関連企画、「図形パズルに挑戦！」を Web 公開
- ・6月17日  
おうちミュージアム第7弾、館蔵資料展「郷土玩具」関連企画、「郷土玩具を干支の順にならべてみよう！」を Web 公開
- ・7月10日  
図書閲覧コーナー、講堂の使用を再開（開架図書に図書にブックカバーを装着し、消毒を徹底）。入場者上限を総合展示室87人、主題展示室22人までに緩和。ミュージアムシアターを座席指定を行い再開。20人未満のグループ見学の受け入れを開始する。
- ・8月1日  
竪穴住居の観覧を再開（解説は入口付近で行う）、講座・体験教室・プレイルームのぬり絵コーナーを再開
- ・8月21日  
喫茶コーナーの営業を、座席数を制限して再開
- ・9月26日  
入場者制限下で、令和2年度企画展「松戸と徳川将軍の御鹿狩」を開催（～11月15日まで）
- ・10月1日  
感染症対策を徹底しつつ、展示室への入場者制限を撤廃。団体見学の受入を再開（19人まで）。竪穴住居内での解説（住居内へ入れる人数は3人まで）、プレイルームのパズル・ポストカードぬり絵コーナーを再開
- ・10月11日  
記念講演会①「将軍御鹿狩後始末（あとしまつ）―狩後の将軍と獲物の行方―」を森のホール21、レセプションホールで行った。定員150名のところを100名とし、座席の前後左右の間隔を1mとした。入場時には検温と手指消毒を実施。なお、10月24日の記念講演会②も同様に行った。
- ・10月22日  
企画展「松戸と徳川将軍の御鹿狩」の解説動画を Web 公開
- ・10月30日  
おうちミュージアム第8弾、企画展関連企画、「江戸時代ぬりえ3種類」を Web 公開
- ・11月15日  
おうちミュージアム第9弾、「まつどの江戸時代 村パズルを完成させよう！」を Web 公開
- ・12月13日（日）  
第5回博物館アワード表彰式を、特別賞受賞者と保護者1名の出席に制限して行った。

2021(令和3)年

- ・1月7日  
首都圏の1都3県に「緊急事態発令」(2月2日に延長・区域変更。3月5日再延長、3月21日までとなる)
- ・1月20日  
学習資料展「こどもミュージアム90年前からのくらしのうつりかわり」開催（～3月31日まで）

・2月26日

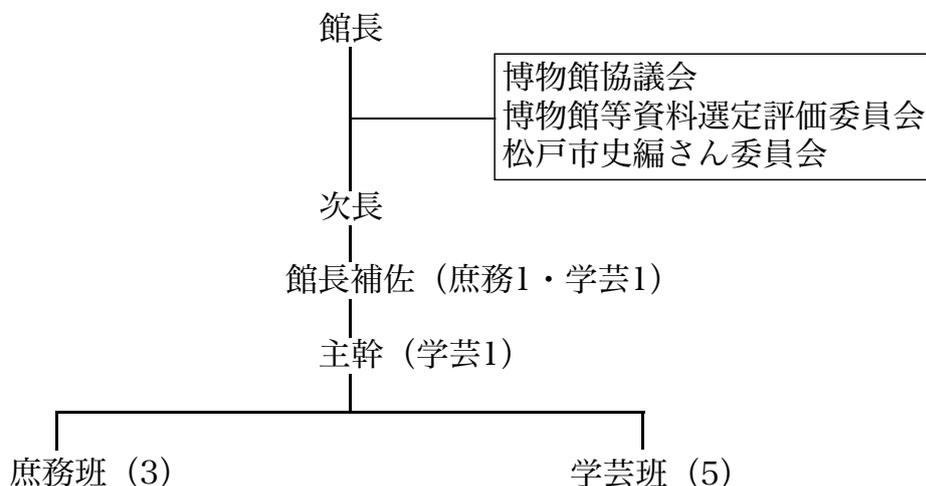
学習資料展 こどもミュージアム「90年前からのくらしのうつりかわり」の解説動画を Web 公開

○今後の課題

コロナ禍による臨時休館中、インターネットなどの ICT を活用した積極的な情報発信を行うことで、不特定多数の方が当館の展示に関心を持つことがわかった。いまだ新型コロナウイルス感染症は収束の兆しを見せていないが、今後も実現可能な方法で、松戸市の歴史と文化を広く一般に伝えることが博物館の役割であると考えている。

# IV 組織と運営

## 1 組織



## 2 歳出予算

単位：千円

事業 科目	予算額	内訳			
		管理 運営	展示 事業	学習 支援	資料 収集
報酬	304	204	0	0	100
賃金	-	-	-	-	-
報償	1,588	760	288	290	250
旅費	174	0	74	0	100
需用	36,960	21,929	11,252	992	2,787
役務	2,702	545	1,940	63	154
委託	93,669	70,839	14,728	1,251	6,851
使用	12,614	9,783	2,254	577	0
工事	71,258	71,258	0	0	0
原材	25	25	0	0	0
備品	1,358	0	308	100	950
負担	94	0	0	0	94
計	220,746	175,343	30,844	3,273	11,286

※賃金の歳出は、令和2年度より教育企画課が行うこととなった。

## 3 事務事業

事務事業名	事務事業の主な内容
博物館管理運営事業	施設の維持管理を目的としており、館利用者が安全で快適な環境で学習できるよう施設を整備する。また、博物館協議会において、適正な事業方針を審議する。
博物館展示事業	総合展示・主題展示・野外展示・映像展示で構成し、市民に郷土の歴史と文化への理解を深めてもらう。また、年4回程度、企画展・資料展・学習資料展を実施する。
博物館学習支援事業	歴史講座・体験教室・講演会等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史文化等にかかわる最新情報を様々な媒体を通して提供する。
博物館歴史資産収集調査事業	松戸を中心とする歴史・文化・自然史等に関する資料の収集・保存及び調査研究を行い、市民の共有の資産として後世に伝える。
市史編さん事業	市民に郷土の歴史を知ってもらい、郷土に対する誇りを育てるため、松戸市史の編さんを行う。 平成10年度に市長から諮問のあった『松戸市史 上巻』の改訂については、平成26年度に『松戸市史 上巻 (改訂版)』の刊行を行ったので、現在は、市長よりの諮問案件はない。

## 4 各種委員会等

### (1) 博物館協議会

#### 委員名簿

(令和3年3月31日現在)

区分	氏名	役職等
1号委員 学校教育関係者	大島 賢一	松戸市立八ヶ崎小学校校長
	大西 一樹	松戸市立馬橋北小学校教諭
2号委員 社会教育関係者	山口 恵理子	北部幼稚園副園長
	岡田 啓時	松戸市立博物館友の会会長
	谷鹿 栄一	千葉県立現代産業科学館主任上席研究員
3号委員 家庭教育の向上に資する活動を行う者	百田 清美	NPO法人ねばあらんど理事長
4号委員 学識経験者	濱島 正士	国立歴史民俗博物館名誉教授(建築史学)
	佐藤 孝之	東京大学名誉教授(近世史)
	小島 孝夫	成城大学教授(民俗学)
	日高 慎	東京学芸大学教授(考古学)

任期2年 令和3年9月30日まで

#### 第1回協議会

令和2年10月25日(日)

会場:博物館実習室

議題:(1)松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画について  
①常設展示リニューアルの方針と今年度目標  
②リニューアル基本構想・基本計画策定スケジュール  
(2)企画展「松戸と徳川将軍の御鹿狩」内覧

#### 第2回協議会

令和3年3月20日(土)

会場:博物館実習室

議題:(1)松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画骨子(案)について  
(2)学習資料展「こどもミュージアム 松戸探検 90年前からのくらしのうつりかわり」内覧

### (2) 博物館等資料選定評価委員会

#### 委員名簿

(令和3年3月31日現在)

氏名	専門	役職等
安蒜 政雄	考古	明治大学名誉教授
金子 隆一	写真	元東京都写真美術館学芸員、写真史家
久保田 昌希	歴史	駒澤大学教授
佐野 賢治	民俗	神奈川大学教授
松尾 美恵子	歴史	学習院女子大学名誉教授

任期2年 令和3年3月31日まで

令和2年度は開催なし。

### (3) 松戸市史編さん委員会

※「3 事務業務」にて記載のとおり、平成10年度に市長から諮問のあった事業については、平成26年度で終了したので、現在は市長からの諮問案件はない。

## 5 博物館利用者数の統計

利用者総計 42,645 人

利用者の内訳は以下の通りである。

常設展示観覧者数（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

月	開館 日数 (日)	有料観覧者数(人)					無料観覧者数(人)								観覧者 総数 (人)
		個人		団体		有料 観覧者 計	学習 活動	身体 障害者	70歳 以上	中学生 以下	視察等	友の会	無料 開放日	無料 観覧者 計	
		一般	高校生 大学生	高校生 大学生	一般										
4	6	29	4	0	0	33	0	7	11	16	0	0	0	34	67
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	19	288	15	0	0	303	0	35	30	84	7	2	0	158	461
7	27	465	41	0	0	506	9	31	65	143	8	4	0	260	766
8	26	955	43	0	0	998	22	101	129	588	35	11	0	743	1,741
9	25	627	40	0	0	667	0	44	62	202	28	7	0	343	1,010
10	27	673	37	0	0	710	115	103	285	254	205	2	0	964	1,674
11	24	864	48	0	0	912	344	109	255	275	343	3	448	1,777	2,689
12	23	245	23	0	0	268	278	48	24	101	30	5	0	486	754
1	23	311	16	0	0	327	0	37	9	157	9	2	0	214	541
2	23	717	34	0	0	751	270	36	52	351	22	1	0	732	1,483
3	26	576	42	0	0	618	132	47	59	324	21	2	0	585	1,203
計	249	5,750	343	0	0	6,093	1,170	598	981	2,352	708	39	448	6,296	12,389

企画展示等観覧者数

展覧会	開催期間	開館 日数 (日)	有料観覧者数(人)					無料観覧者数(人)								観覧者 総数 (人)
			個人		団体		有料 観覧者 計	学習 活動	身体 障害者	70歳 以上	中学生 以下	視察等	友の会	無料 開放日	無料 観覧者 計	
			一般	高校生 大学生	一般	高校生 大学生										
館蔵資料展「郷土玩具 人と動物のかたち」	R2.6.2 ～R2.6.21	18													692	692
松戸市教育委員会所蔵 品展「松戸のたからもの 松戸市の美術コレク ション」	R2.7.23 ～R2.8.30	34	1,045	46	0	0	1,091	19	131	217	417	267	0	0	1,051	2,142
企画展「松戸と徳川将 軍の御鹿狩」	R2.9.26～ R2.11.15	44	1,800	71	0	0	1,871	109	189	651	420	899	0	532	2,800	4,671
学習資料展「松戸探検 90年前からのくらしの うつりかわり」	R3.1.20 ～R3.3.31	59													4,159	4,159
小計		155	2,845	117	0	0	2,962	128	320	868		1166	0	532	8,702	11,664
第5回博物館アワード 作品展	R2.12.1～ R2.12.20	18													689	689
計		173	2,845	117	0	0	2,962								9,391	12,353

※無料展示については、観覧者の内訳を把握していない。

### 博物館無料ゾーン利用者

博物館施設名	プレイルーム	映像展示	野外展示	講座・講演会等参加者	合計
日数(日)	249	249	249	—	—
利用者総(人)	4,765	719	12,020	399	17,903

### 博物館資料者総計(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

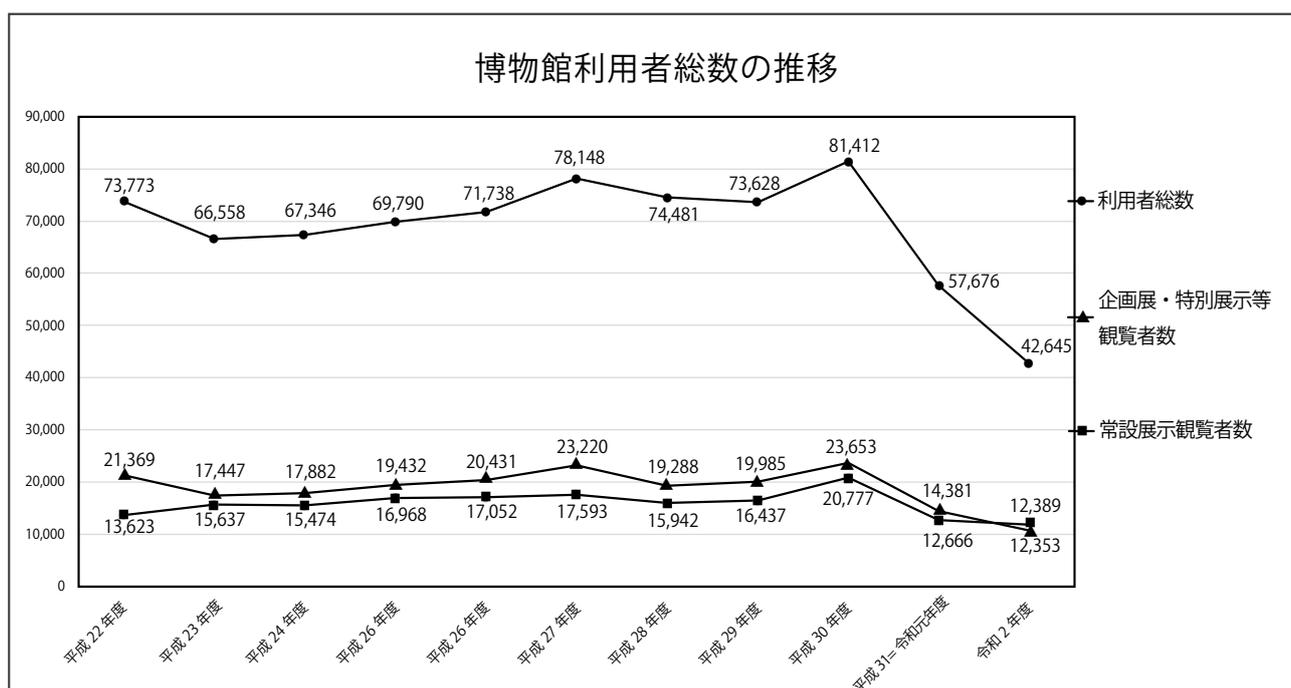
単位:人

	平成31年度	令和2年度	前年度比較
常設展示観覧者数	12,666	12,389	△277
企画展・特別展示等観覧者数	14,381	12,353	△2,028
博物館無料ゾーン利用者	30,629	17,903	△12,726
利用者総計	57,676	42,645	△15,031

### 博物館資料者総計の推移

単位:人

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
利用者総数	73,773	66,558	67,346	69,790	71,738	78,148	74,481	73,628	81,412	57,676	42,645
常設展示観覧者数	13,623	15,637	15,474	16,968	17,052	17,593	15,942	16,437	20,777	12,666	12,389
企画展・特別展示等観覧者数	21,369	17,447	17,882	19,432	20,431	23,220	19,288	19,985	23,653	14,381	12,353
(うち) 企画展観覧者数	1,993	5,766	2,885	2,576	2,641	3,809	2,917	4,153	8,959	5,109	4,671
その他展示観覧者数	19,376	11,681	14,997	16,856	17,790	19,411	16,371	15,832	14,694	9,272	9,682
講座・講演会等参加者数	3,384	2,802	3,368	3,259	3,291	3,052	5,999	6,910	6,554	2,598	399



## 6 来訪者（敬称略）

令和2年

6月5日 朝日新聞 取材

9月25日 千葉日報、東京新聞、毎日新聞、朝日新聞 取材

9月30日 千葉県教育研究会社会科部会 見学

11月4日 朝日新聞 取材

12月4日 千葉日報 取材

令和3年

1月27日 毎日新聞 取材

3月19日 TV東京 取材

# V 条 例 ・ 規 則

## 松戸市立博物館条例

平成4年9月24日松戸市条例第28号

(趣旨)

第1条 この条例は、松戸市立博物館（以下「博物館」という。）の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 本市は、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名称	位置
松戸市立博物館	松戸市千駄堀 671 番地

(管理)

第3条 博物館は、松戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が管理する。

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(事業)

第5条 博物館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、自然史等に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、フィルム等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (4) 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (6) 他の博物館、美術館、文書館、図書館、学校その他学術又は文化に関する施設との相互協力に関すること。
- (7) その他教育委員会が必要と認める事業

(観覧料)

第6条 博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納入しなければならない。

2 教育委員会は、特に必要と認める場合においては、前項の観覧料を免除することができる。

3 既納の観覧料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、返還することができる。

(入館の制限及び退館)

第7条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を禁止し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるとき。
- (2) 博物館の施設、展示品等を損壊するおそれのあるとき。
- (3) その他博物館の管理上支障があるとき。

(博物館協議会)

第8条 博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、博物館に松戸市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験者

3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 前2項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して8か月を超えない範囲内において教育委員会が規則で定める日から施行する。

(平成5年3月26日松戸市教育委員会規則第2号

で、同5年4月29日から施行)

附 則(平成10年3月27日松戸市条例第11号)

この条例は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成13年6月21日松戸市条例第23号)

この条例は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成23年3月30日松戸市条例第11号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日松戸市条例第7号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

### 別表 (第6条関係)

区分		観覧料 (1人1回につき)	
		個人	団体(20人以上)
常 設 展 示	一般	310円	250円
	高校生・大学生	150円	100円
	中学生以下	無料	無料
企 画 ・ 特 別 展 示	次の各号に掲げる額を超えない範囲内において、その都度展示内容に応じ、教育委員会が定める。ただし、中学生以下の者に係る観覧料にあつては、無料とする。		
	(1) 一般	1,200円 (共通観覧料については、1,440円)	
	(2) 高校生・大学生	600円 (共通観覧料については、700円)	

### 松戸市立博物館管理運営規則

(平成5年3月26日松戸市教育委員会規則第3号)

(趣旨)

第1条 この規則は、松戸市立博物館条例(平成4年松戸市条例第28号。以下「条例」という。)

第9条の規定により、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、博物館への入館時間は、午後4時30分までとする。

2 松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要と認めるときは、前項に規定する開館時間及び入館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時に

休館し、又は休館日を変更することができる。

(1) 月曜日

(2) 1月1日から4日まで及び12月28日から31日まで

(3) 館内整理日(毎月第4金曜日とする。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「祝日法による休日」という。)である場合は、この限りでない。)

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が祝日法による休日に当たるときは、その日後において、その日に最も近い祝日法による休日でない日を休館日とする。

(観覧券の交付)

第4条 条例第6条第1項の規定により、所定の観覧料を徴収したときは、観覧券(第1号様式)を交付するものとする。

(観覧料の免除等)

第5条 条例第6条第2項の規定により、観覧料を免除することができる場合は、次に掲げるとおりとする。

(1) 高校生、大学生及び大学生以下の者を引率する者が教育課程に基づく学習活動として観覧するとき。

(2) 博物館が開催する講演会、講習会、研究会等に参加する者が観覧するとき。

(3) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護人(手帳の交付を受けている者1人につき1人に限る。)が観覧するとき。

(4) 市内に居住する70才以上の者が観覧するとき。

(5) 県民の日を定める条例(昭和59年千葉県条例第3号)第2条に定める日に観覧するとき。

(6) その他教育委員会が必要と認めたとき。

2 観覧料の免除を受けようとする者で前項第1号に該当するものは、あらかじめ博物館観覧料免除申請書(第2号様式)を教育委員会に提出し、承認を受けなければならない。

(観覧料の返還)

第6条 条例第6条第3項ただし書の規定により、観覧料の返還を受けようとする者は、博物館観覧料返還申請書(第3号様式)を教育委員会に提出

し、承認を受けなければならない。

(資料の貸出し)

第7条 教育委員会は、次の各号に掲げる者に対し、博物館業務に支障がないと認めるときは、博物館で所蔵する資料を貸し出すことができる。

(1) 国立博物館、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項の規定による博物館及び同法第29条の規定による博物館に相当する施設の設置者

(2) 前号に掲げる者のほか、教育委員会において特に認める者

2 博物館資料の貸出しを受けようとする者は、博物館資料貸出申請書（第4号様式）を教育委員会に提出し、博物館資料貸出許可書（第5号様式）の交付を受けなければならない。

3 博物館資料の貸出期間は、60日以内とする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを延長することができる。

(文献等の閲覧等)

第8条 教育委員会は、必要があると認めるときは、博物館で所蔵する資料のうち文書及び図書（以下「文献等」という。）の閲覧又は複写（文書については、マイクロフィルムに保存されているものに限る。）をさせることができる。

2 文献等を閲覧しようとする者は、博物館文献等閲覧許可申請書（第6号様式）を教育委員会に提出し、博物館文献等閲覧許可証（第7号様式）の交付を受けなければならない。

3 博物館文献等閲覧許可証の有効期間は、交付の日から1年とする。

4 文献等の複写を希望する者は、博物館文献等複写申請書（第8号様式）により教育委員会の許可を受けなければならない。

(閲覧又は複写の制限)

第9条 教育委員会は、次の各号に掲げる文献等の閲覧又は複写を許可しないものとする。

(1) 未公開及び未整理のもの

(2) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの

(3) 寄託された文献等で寄託者の同意を得ていないもの

(4) その他教育委員会が不相当と認めたもの

(入館者の遵守事項)

第10条 博物館の入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、設備、展示資料等を汚損し、又は損傷しないこと。

(2) 許可なく展示資料の写真撮影、模写等の行為を行わないこと。

(3) 所定の場所以外において喫煙し、飲食し、又は火気を使用しないこと。

(4) 無断で広告その他これに類するものを掲示又は配布しないこと。

(5) 他人に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。

(6) 前各号に定めるもののほか、教育委員会の指示に従うこと。

(所掌事務)

第11条 博物館の所掌事務は、別表のとおりとする。

(職務)

第12条 館長は、博物館の事務を掌理し、職員を指揮監督する。

2 次長は、館長を補佐し、所属の事務を統轄する。

3 館長補佐は、館長及び次長を補佐する。

4 その他の職にある者は、上司の命を受け、担当事務を処理する。

(博物館協議会の会長等)

第13条 条例第8条第1項に規定する博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(博物館協議会の会議等)

第14条 協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 協議会は、特に必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

5 協議会の会議は、公開を原則とする。ただし、協議会において会議を公開しないと認めたとき

は、この限りでない。

6 協議会の庶務は、博物館において処理する。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、平成5年4月29日から施行する。

附 則 (平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 (平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第10号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 (平成7年3月2日松戸市教育委員会規則第5号)

この規則中、第5条第1項の改正規定は平成7年4月1日から、第11条に1号を加える改正規定は公布の日から施行する。

附 則 (平成8年3月14日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則 (平成10年3月26日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則 (平成13年7月11日松戸市教育委員会規則第12号)

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則 (平成14年3月4日松戸市教育委員会規則第1号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月31日松戸市教育委員会規則第8号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年3月30日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月30日松戸市教育委員会規則第4号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年3月15日松戸市教育委員会規則第4号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年3月13日松戸市教育委員会規則第2号)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

## 別表 (第11条関係)

- ・ 文書の收受、保存及び公印の管理に関すること。
- ・ 観覧料の徴収に関すること。
- ・ 予算、経理及び物品の管理に関すること。
- ・ 要覧及び年報の作成に関すること。
- ・ 財産の管理に関すること。
- ・ 施設及び設備の維持管理に関すること。
- ・ 博物館協議会に関すること。
- ・ 資料選定評価委員会に関すること。
- ・ 市史編さんに関すること。
- ・ 市史編さん委員会に関すること。
- ・ 関係団体との連絡調整に関すること。
- ・ 資料の収集、保存及び展示に関すること。
- ・ 資料の調査及び研究に関すること。
- ・ 資料に関する講座、講演会、研究会等の開催に関すること。
- ・ 資料に関する目録、解説書、図録、調査研究、報告書等の作成に関すること。
- ・ 資料に関する相談、情報提供に関すること。
- ・ 博物館資料に関する閲覧、貸出等についての許可に関すること。
- ・ 博物館資料の寄贈、寄託に関すること。
- ・ 他の博物館、図書館、学校等との連絡及び協力に関すること。
- ・ その他博物館の専門的事項に関すること。

第1号様式～第8号様式 省略

## 松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例

(平成26年12月25日松戸市条例第28号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、松戸市立博物館等資料選定評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、松戸市立博物館及び松戸市戸定歴史館における歴史に関する資料(以下「歴史資料」という。)の収集を適正かつ円滑に行うため、松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 歴史資料の真がんに関する事項
- (2) 歴史資料の価格の適否に関する事項

(3) 歴史資料の寄贈及び寄託の受入れ又は購入の適否に関する事項

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、学識経験を有する者その他教育委員会が必要と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第8条 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の専門的知識を有する者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。(特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部改正)

2 特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例(昭和31年松戸市条例第15号)の一部を次のように改正する。

別表2に次のように加える。

松戸市立博物館等資料選定評価委員会委員	日額 20,000円
---------------------	------------

※「松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱」については、「松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例」(平成26年12月25日松戸市条例第28号)として条例化されたことに伴い、平成27年3月31日付で廃止となった。

## 松戸市史編さん委員会条例

(昭和55年3月26日松戸市条例第3号)

(設置)

第1条 郷土をより深く理解することによつて市民の愛郷心を振起させ、あわせて市勢発展の基礎資料となる松戸市史を編さんするために、松戸市史編さん委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、松戸市史の編さんについて調査審議する。

(組織)

第3条 委員会は、5人の編さん委員で組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

(1) 学識経験者

(2) 市の職員

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、これを代理する。

(招集及び会議)

第6条 会議は、委員長が招集する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、委員会に  
し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和55年4月1日から施行する。

(松戸市誌編さん委員会条例の廃止)

2 松戸市誌編さん委員会条例(昭和28年松戸市  
条例第23号)は、廃止する。

(松戸市役所部課設置条例の一部改正)

3 松戸市役所部課設置条例(昭和38年松戸市条  
例第3号)の一部を次のように改正する。

第2条総務部の項中「市誌編さん」を「市史編さ  
ん」に改める。

### 松戸市立博物館研究員設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館(以下「博物  
館」という。)の資料整備並びに学校教育及び社  
会教育における博物館の活用に関し、専門的な調  
査研究に資するため、博物館に研究員をおく。

(定数)

第2条 研究員の定数は、8人を超えない範囲内  
において、館長が定める。

(委嘱)

第3条 研究員は、博物館の業務に関し、学識経験  
を有する者のうちから、博物館館長が委嘱する。

(任期)

第4条 研究員の任期は、1年とする。ただし、年  
度中途に委嘱された研究員の任期は、当該年度  
末までとする。

(職務)

第5条 研究員は、次に掲げる職務に従事する。

- (1) 博物館の資料の収集、保管、展示等に関する  
専門的、技術的な調査研究
- (2) 学校教育及び社会教育における博物館の活  
用に関する専門的な調査研究
- (3) その他博物館の事業に関する専門的な調査  
研究

(会議)

第6条 館長は、研究員の職務の円滑な遂行を図

るため、必要と認めるときは、研究員の会議を開  
催することができる。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項  
は、館長が定める。

附 則

この要綱は、平成5年12月1日から施行する。

### 松戸市立博物館資料取扱い及び特別利用に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館(以下「博物  
館」という。)における博物館資料(以下「資料」  
という。)の寄贈又は寄託による受入れ、貸出し、  
借入れ及び調査又は研究のための特別利用に関  
し、必要な手続を定めるものとする。

(寄贈の申込み)

第2条 松戸市教育委員会(以下「教育委員会」と  
いう。)は、資料の寄贈を受けるときは、寄贈の  
申込みをする者から資料寄贈申込書を徴するもの  
とする。

(寄贈の承認)

第3条 教育委員会は、寄贈を受けることとなった  
資料を受領したときは、寄贈者に資料受領書を交  
付するものとする。

(寄託の申込み)

第4条 教育委員会は、資料の寄託を受けるときは、  
資料の寄託の申込みをする者から資料寄託申込書  
を徴するものとする。

(寄託資料の受託及び返還)

第5条 教育委員会は、寄託を受けることとなった  
資料を受領したときは、寄託者に資料受託証書を  
交付するものとする。

2 寄託を受けた資料(以下「寄託資料」という。)  
の返還は、資料受託証書と引き替えに行うものと  
する。

(資料の一時預り)

第6条 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託の申  
込めがあった場合において、資料の寄贈又は寄託  
の可否を決定するために必要と認めるときは、当  
該申込者に対し資料の一時預りを求めることがで  
きる。

2 教育委員会は、前項の場合において当該申込者が資料の一時預りを承諾したときは、資料と引きかえに資料一時預り証を交付するものとする。

(寄託期間)

第7条 寄託期間は、3年とする。

2 前項の寄託期間の起算日は、寄託を受けた日の属する年度の4月1日とする。

3 教育委員会は、寄託期間の更新をするときは、寄託者から新たに資料寄託申込書を徴するとともに、寄託者に新たに資料受託証書を交付するものとする。

(寄託期間内の返還)

第8条 教育委員会は、寄託期間満了前であっても、寄託者から寄託資料期間内返還申込書の提出があったときは、寄託資料の返還に応ずるものとする。

(寄託資料の一時返還)

第9条 教育委員会は、寄託資料の一時返還をするときは、寄託期間中に寄託者から寄託資料一時返還申込書を徴するものとする。

2 一時返還の期間は、60日を限度とする。ただし、特別の事由がある場合は、その期間を延長することができる。

3 一時返還の期間中における寄託資料の管理については、教育委員会は、その責を負わない。

(寄託資料の所有者変更)

第10条 教育委員会は、寄託者が寄託資料の所有権を移転する場合においては、寄託者から寄託資料所有者変更届を徴するとともに、受託証書の返還を受けなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は寄託者の死亡に伴い相続が発生したときは、相続により当該寄託資料の所有権を取得した者から、寄託資料所有者変更届を徴するものとする。

(受託証書の再交付)

第11条 教育委員会は、前条の規定により寄託資料の所有者の変更が生じた場合は、受託証書の再交付を行うものとする。

2 教育委員会は、寄託者が受託証書を亡失、滅失又は破損した場合は、寄託者にこれらの事由を記載した書面によって受託証書の再交付を申請させるものとする。

(資料の館外貸出し)

第12条 資料の館外貸出しについては、松戸市立博物館管理運営規則第7条に定めるもののほか、次条及び第14条の規定によるものとする。

(資料の館外貸出条件)

第13条 教育委員会は、資料の館外貸出しをしようとするときは、次の各号に掲げる条件を明示するものとする。

(1) 貸出しを受けた者(以下「借受人」という。)は、貸出しを受けた資料(以下「貸出資料」という。)を善良なる管理者の注意をもって管理すること。

(2) 貸出資料の取扱いは、学芸員又はこれと同等の資格を有すると認められる者が行うこと。

(3) 貸出し期間中に貸出資料の保管等のために要する費用は、全て借受人の負担とすること。

(4) 借受人は、貸出資料を貸出目的以外の用に供してはならない。

(5) 貸出資料を展示する場合は、原則としてケース内展示とし、松戸市立博物館所蔵の旨を明示すること。

(6) 借受人は、貸出資料を滅失し、又はき損したときは、これによって生じた損害を賠償すること。

(7) 借受人は、資料借用申込書に記載した事項を遵守すること。

(8) 借受人において、貸出条件に違反する行為があるとき又は特別の事由が生じたときは、貸出期間中であっても貸出を取り消す場合があること及びこの場合において生じた損害については、教育委員会は其の責を負わないものであること。

(9) 博物館職員の指示に従うこと。

(10) その他必要と認められる条件

(借用書の徴収)

第14条 教育委員会は、貸出資料と引き替えに借受人から資料借用書を徴するものとする。

(資料の借入れ)

第15条 教育委員会は、博物館における展示、研究等のために資料の借入れをするときは、借入れする資料(以下「借受資料」という。)の受領の際、資料預り証を資料の貸主に交付するものとする。

(借受資料の返還)

第16条 借受資料の返還は、資料預り証と引き替

えに行うものとする。

(特別利用の申込み)

第17条 資料について、調査、写真撮影等の特別な利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、資料特別利用申込書(寄託資料にあつては資料特別利用申込書及び所有者の承諾書)を教育委員会に提出して申込まなければならない。

(特別利用の承認)

第18条 教育委員会は、前条の申込みがあつた場合において、資料の特別利用を承認したときは、当該申込者に資料特別利用承認書を交付するものとする。

(特別利用の条件)

第19条 教育委員会は、特別利用の承認をするときは、次の各号に掲げる条件を明示するものとする。

- (1) 資料の特別利用申込書に記載した目的以外の用に供してはならないこと。
- (2) 出版物等に掲載する場合は、松戸市立博物館所蔵の旨を明示すること。
- (3) 出版物等に掲載する場合は、博物館(寄託資料にあつては、博物館及びその所有者)に出版物等を寄贈すること。
- (4) 博物館職員の指示に従うこと。
- (5) その他必要と認める条件

(申込書等の様式)

第20条 この要綱の施行に関し必要な申込書等の様式は、別表の定めるところによる。ただし、特に必要と認める場合は、これらの様式に準じたものをもって手続をすることができる。

(委任)

第21条 この要綱の実施に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成5年12月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行前になされた資料の寄贈又は寄託による受入れ、貸出し、特別利用その他の手続については、この要綱の相当規定によりなされたものとみなす。

## 松戸市立博物館紀要投稿規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要(以下「紀要」という。)への投稿に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(資格)

第2条 紀要に投稿することができる者は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 投稿時において松戸市立博物館の職員である者
- (2) 投稿時において松戸市立博物館の研究員である者
- (3) 過去において松戸市立博物館の職員であつた者
- (4) 松戸市立博物館が投稿を依頼した者
- (5) その他松戸市教育委員会が適当と認めた者

(審査)

第3条 原稿の掲載の可否は、松戸市立博物館紀要査読規程(平成23年10月1日施行。以下「査読規程」という。)にもとづいて松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)で査読の上決定し、著者に通知するものとする。

(投稿区分と枚数)

第4条 紀要の投稿区分と枚数は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 論文 70枚以内(400字詰原稿用紙換算)
- (2) 研究ノート 50枚以内(同上)
- (3) 資料紹介 30枚以内(同上)
- (4) その他 編集委員会の定めるところによる

2 前項の枚数には、本文、注、参考文献、図表を含めるものとする。

3 投稿する原稿は、未発表のものに限る(刊行予定のものは既発表とみなす)。

(投稿形式)

第5条 投稿の形式は、原則として電子文書によるものとし、電子メールの添付ファイルとして送信し、又は電子媒体を編集委員会事務局宛てに送付する方法によるものとする。併せて、電子文書とは別に、紙媒体に印字された原稿を一部送付する。

2 前項の規定にかかわらず、編集委員会が特に必要と認めたときは、紙媒体による投稿をすることができる。この場合における投稿部数は、4部とする。

3 前2項の原稿を投稿するときは、図1に示す投稿票を添付するものとする。

(締切)

第6条 投稿の締め切りは、毎年10月31日とする。

(校正)

第7条 原稿が受理された以後の本文の書き直しは、校正(明らかな誤字脱字を訂正することをいう。)を除き、これを認めない。

2 前項に規定する校正には、松戸市立博物館紀要執筆要領(以下「執筆要領」という。)にもとづいて形式を訂正することを含む。

3 著者による校正は初校のみとし、再校以後は編集委員会事務局が行うものとする。

(別刷の取り扱い及び掲載誌の贈呈)

第8条 著者には著作が掲載された号の紀要を5部贈呈する。

2 別刷が必要なときは、投稿時に編集委員会事務局あて必要部数を通知するものとし、別刷の作成に必要な経費は著者が負担する。

(委任)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

図1 (用紙規格 J I S A 5)

投稿票

氏名	
タイトル	
投稿区分	
原稿枚数(400字詰原稿用紙換算)	

## 松戸市立博物館紀要編集委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)の設置に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 編集委員会は、次の各号に掲げる事項について調査審議するものとする。

(1) 松戸市立博物館紀要に投稿された原稿の掲載の可否に関すること。

(2) その他松戸市立博物館紀要の編集・発行に関し必要な事項

(構成)

第3条 編集委員会の委員は、学識経験を有する者及び関係機関の職員のうちから2名以上の者を松戸市立博物館長(以下「館長」という。)が指名する。

2 編集委員会の委員長は、館長をもってあてる。

(会議)

第4条 編集委員会の会議は委員長が招集し、自ら議長となる。

(意見の聴取)

第5条 編集委員会は、会議に編集委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第6条 編集委員会の庶務は、松戸市立博物館において処理する。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

## 松戸市立博物館紀要査読規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要(以下「紀要」という。)に投稿された原稿の査読に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(査読)

第2条 松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)は、紀要に投稿された論文、研究ノート及び資料紹介(以下「論文等」という。)について査読を行い、その結果を投稿者に通知す

るものとする。

2 編集委員会は、必要に応じて編集委員以外の者に査読を依頼することができる。

(査読方法)

第3条 編集委員会は、査読対象の論文等に関し、別表1に掲げる事項について評価を行う。

(判定)

第4条 編集委員会は、前条の評価に基づいて別表2に掲げる4段階の判定を行う。

2 前項の判定は、編集委員の過半数の賛成によって行うものとする。

(委任)

第5条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

(2) 指摘箇所訂正後に可

2 修正後再審査

(1) 書き直し後に再審査

(2) 投稿区分の変更を必要とする

3 掲載否

(1) 既発表部分が多い

(2) 「松戸市立博物館紀要」として不適當

(3) 内容不可

4 判定不能

(1) 一部他分野の専門家の判断を必要とする

(2) その他

## 別表1

### 1 形式

- (1) 表題・副題の適切さ
- (2) 章・節等の全体構成の適切さ
- (3) 原稿枚数の適切さ
- (4) 投稿区分の妥当性

### 2 内容

- (1) 素材及び資料の妥当性、提示方法
- (2) 論理展開の明確さ
- (3) 内容の正確さ、完成度
- (4) 結論の提示方法

### 3 図表等

- (1) 図表の必要性
- (2) 図表の作成、説明の適切さ

### 4 文献

- (1) 参照文献の妥当性、引用の適切さ

### 5 表現

- (1) 文章の表現力、読みやすさ

## 別表2

### 1 掲載可（再審査不要）

- (1) このままで掲載可

職員名簿（令和2年4月1日現在）

館長（非常勤）	望月 幹夫
次長	堤 和子
館長補佐	染野 寿郎
館長補佐・学芸員	中山 文人
主査	中野 裕子
主任主事	武井 駿
主事	加藤 義隆
主幹・学芸員	青木 俊也
主査・学芸員	富澤 達三
主査・学芸員	小林 孝秀
主任主事・学芸員	西村 広経
再任用・学芸員	大森 隆志
再任用・学芸員	山田 尚彦

人事異動

〈令和2年4月1日〉（カッコ内は転出後・転入前の所属）

転出：主任主事 山本 直（債権管理課）

新任：主任主事・学芸員 西村 広経（新規採用）

---

松戸市立博物館年報 第28号

発行日 令和3年9月30日

編集発行 松戸市立博物館

〒270-2252

千葉県松戸市千駄堀 671 番地

電話番号 047-384-8181（代表）

[http://www.city.matsudo.chiba.jp/m\\_muse/](http://www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/)

印刷 株式会社 弘文社



松戸市立博物館  
MATSUDO MUSEUM